

シニア海外ボランティア

平成21年度春 分野別要請集

平成21年 4月

No. 2

農林水産

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局



J/333.9

SE

21-1

15286



平成21年度SV春募集 分野別要請一覧

3. 農林水産

要請番号	指導科目	国名	頁
農林水産・(48件)			
SL04509C08	穀物育種	モンゴル	1
SL12409C06	農業教育	パプアニューギニア	2
SL32409C05	大豆育種	パラグアイ	3
SL30309C16	花き栽培	アルゼンチン	4
SL30309C04	野菜栽培	アルゼンチン	5
SL32409C03	育種(園芸)	パラグアイ	6
SL06009C01	柑橘栽培	ネパール	7
SL21509C11	アグロフォレストリー	コスタリカ	8
SL30609C02	果樹栽培	ボリビア	9
SL04509C01	植物細胞培養	モンゴル	10
SL04509C07	組織培養	モンゴル	11
SL22709C02	組織培養	エルサルバドル	12
SL04809C05	総合的病虫害管理	ブータン	13
SL25109C13	病虫害防除	パナマ	14
SL31509C03	植物病理	コロンビア	15
SL32409C04	作物病害虫対策	パラグアイ	16
SL32409C10	病害防除	パラグアイ	17
SL03309C08	土壌改良	中華人民共和国	18
SL32409C09	土壌分析	パラグアイ	19
SL30609C03	農業改良普及員	ボリビア	20
SL12409C09	実験指導	パプアニューギニア	21
SL25109C03	有機農業	パナマ	22
SL30309C08	青果物収穫後の鮮度保持	アルゼンチン	23
SL30309C17	植物病害の生物的防除	アルゼンチン	24
SL44209C01	ジャガイモ育種	シリア	25
SL47509C02	生物資源工学	チュニジア	26
SL47509C06	発酵工学	チュニジア	27
SL00609C02	農業機械	インドネシア	28
SL00609C03	養蜂	インドネシア	29
SL30609C01	養鶏	ボリビア	30
SL30609C04	畜産技術普及員	ボリビア	31
SL04509C09	家畜非感染症	モンゴル	32
SL04809C04	組織培養	ブータン	33
SL44209C04	残留分析	シリア	34
SL22709C03	乳製品加工	エルサルバドル	35
SL23909C06	植林	ホンジュラス	36
SL30309C07	小家具の設計	アルゼンチン	37
SL25109C07	水産海洋学	パナマ	38
SL30309C11	水域資源環境評価	アルゼンチン	39
SL00609C01	水産教育	インドネシア	40
SL25109C05	漁業生産	パナマ	41
SL10609C17	養殖	フィジー	42
SL13009C05	漁業生産	トンガ	43
SL13009C14	沿岸資源増養殖	トンガ	44
SL32409C08	淡水魚養殖	パラグアイ	45
SL33309C03	海水魚養殖	ウルグアイ	46
SL33309C04	淡水魚養殖	ウルグアイ	47
SL46909C02	水産物加工	モロッコ	48

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄 受験番号



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 2 月 2 日

要請番号 (SL 045 - 09 - C - 08)

調査者名: 多賀谷 健司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
モンゴル	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3	
	指導科目 穀物育種			2	21 / 4	
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英) Cereal Breeding			3	/	
					年 月 から	
プログラム番号・名 0450000000006		プロジェクト名				
牧地と農牧業再生プログラム						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 食料農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Food and Agriculture					
	2) 配属先名 (日本語) 植物科学農業研究所 (英語) Plant Science and Agricultural Research Training Institute(PSARTI)					
	3) 任地 ダルハン 首都(ウランバートル)から 北 方向 240 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) モンゴルの農業発展のための政策の中で、研究、教育と生産活動を合理的に組み合わせることで、国の農作物セクターの持続的発展のために、農作物科学の研究、農業、自然環境保護、土地管理分野での研修を行う。また、主要な農作物の優良栽培種子を生産し、農家に供給する。研究部門は7、教育部門は6学部、6研究所を持ち、1400人の学生と50人の教職員からなる。予算は約26万米ドル。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 小麦はモンゴルの耕作地の約90%で栽培されている主要な食用作物で、良質で収穫力が高い新しい品種は農業生産を増大させる役割を果たしてきた。過去5年間、農業部門は気候変動とリわけ早魃のためかなりの被害を蒙り、収穫の激減により穀物生産セクターの経済力を弱めている。早魃に強い、生産性の高い多様な小麦の品種を開発し、小麦穀物生産を維持することが不可欠となっている。そこで、従来の育種技術ではなく、新しい育種技術を適用し、早魃耐性がある多収品種育成のため、交配効率の改良、世代促進を達成するため経験を積んだボランティアが要請された。					
	2) 期待される具体的業務内容 ボランティアは穀物育種プログラムに参加し、最新の育種手法を用い、育種活動の改善に注力し、世代促進と交配効率を高め、他の収穫試験の改良を実現する。優先的研究領域は: ・望ましい遺伝的多様性の増進と早魃耐性のある系統の選択と育成 ・育種のためのMolecular Marker 技術の導入と使用 ・育種初期段階での優性系統の試験、検証のための新しい方法論の開発 ・種間交配の適用 ・植物生理ラボの設置、組織化についてのアドバイス					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Seed dril, Combain harvester, Seed cleanary machine, Gravity separator, Thresher, Electric balance等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 研究者 7人 年齢20代~40代 指導対象: 研究者、学生、農業従事者		5) 業務使用言語 ○ 英語 () ● モンゴル語 ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: A) <input type="checkbox"/> (レベル:)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
			性別理由:			
	・学歴 大卒 業務関連分野		学歴理由: 研究活動に必要			
	・経験 実務経験 5年以上		経験理由: 研究活動に必要			
		理由:				
		理由:				
活動用交通手段の必要性				研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車						
概 地 況 域	気候(大陸性気候) 気温(+30~-30℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 25 日

要請番号(SL 124 - 09 - C - 06)

調査者名: 山本 昭夫

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
パプア ニューギ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001) 指導科目 農業教育	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英) Cultivation			1 21 / 3	年 月 から
			2 21 / 4		
			3 /		

プログラム番号・名 1240000000004 プロジェクト名
 食料自給改善プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Department of Education
	2) 配属先名 (日本語) ダニップ農業工科職業訓練学校 (英語) St. Benedict's Agriculture & Technical School
	3) 任地 マダン市郊外 首都(ポートモレスビー)から 北 方向 480 Km 主要都市(マダン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、全国に120校ある職業訓練校の一つで、自動車整備、板金、木工、農業を2年コースで運営している。同時に学生の希望を受け入れて職業訓練の短期コースの運営も実施している。年間予算は、約1600万円(PNGK40万キナ) ニュージーランド、オーストリア、ドイツからの支援を受けている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 主食が芋類から変化してきて米の消費が増大しているが、米は輸入に頼っているため貴重な外貨を使用している状態である。この状況を改善すべく、米の生産増、自給体制の確立が必要とされており、農作物の生産量増大を目標とした、栽培技術の普及は大きな課題となってきた。JICAが実施した小規模稲作振興プロジェクトの成果として、農家の米の生産意欲は高まってきており、職業訓練校における農業コースへの期待も大きく、コースの効果的な運営が期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ①陸稲栽培技術の指導法の確立 ②農産物(野菜、有用作物)栽培技術の指導法の確立 ③農作物栽培コースの理論、実習体系の改善 ④実習農園での効果的な栽培管理法の指導 ⑤より効果的なコース運営の実施		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教育機材1式(コンピューター、事務機器)及び農業機材一式(トラクターを含む)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 年齢30-50歳、教員4名、学生は16歳以上(中卒程度)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・性別 男性	性別理由: 安全対策上
	・経験 指導経験 3年以上	学歴理由: 経験理由: カウンターパートへの指導理由:
	・普通自動車免許	理由: 安全対策及び生活上不可欠なため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ●車輛 ○単車 ○自転車			

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄 受験番号



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

記入日:平成 20 年 12 月 10 日

要請番号(SL 324 - 09 - C - 05)

調査者名:長谷川 辰雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パラグアイ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001) 指導科目 大豆育種	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3	年 月 日 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英) Improvement Genetics soybean			2	21 / 4	
				3	/	

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省
(受入機関名)(英語) Department of agriculture and livestock

2) 配属先名 (日本語) パラグアイ農業総合試験場(CETAPAR)
(英語) Paraguay Agriculture and Livestock Technology Center

3) 任地 アルトパラナ県イグアス市
首都(アスンシオン)から 東 方向 280 Km
主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
1962年にパラグアイ各地に入植した日本人移住者の営農の安定と振興を図るために開設されたJICA直営の試験農場は、その後統合され現在のCETAPARとなり、日系人農家に限らず地域農家を対象とした技術支援活動を展開してきた。2000年からは地域農業振興を目標に掲げ、技術協力プロジェクトが実施されており、2010年4月にJICAから日系農協中央会へと移管される予定である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
パラグアイの基幹産業である農業において、主な生産物である大豆は輸出向けに生産されており、パラグアイは世界第4位の大豆輸出国である。近年、特に食用大豆(非遺伝子組換え大豆)の需要は増大しており、日系農業協同組合は日本から多数の引き合いを受けている。これに対し、日系農業協同組合は、市場のニーズに合致した大豆を安定供給し、輸出事業を更に発展させたいと考えている。現在、CETAPARでは、食用大豆ならびに遺伝子組換え大豆の育種を取組んでおり、さらなる品質や収量の向上を目的として、ボランティアの要請につながった。

2) 期待される具体的業務内容
実施中の育種業務に基づいて、下記の事項をスタッフとともに取組みながら技術指導を行う。
①栽培適性、品質、多収性、耐病性を重視した育種材料の調査・選定
②交配計画
③選抜方法(調査方法含む)
④効率的な世代促進方法

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
試験播種機、乾燥機、種子保管用保冷库・フリーザー、水分測定器、種子カウンター等。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
大豆育種の担当スタッフ(男性2名-30歳代)、大学農学部卒、うち1名本邦技術研修(土壌分析)経験有り。他に補助員2名。

5) 業務使用言語
● スペイン語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: C)
□ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由:
・経験 実務経験 10年以上 経験理由:
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 有 無 車輦 単車 自転車

概地 気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

要請番号(SL 303 - 09 - C - 16)		調査者名: 山本 パトリシア				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
アルゼン チン	職種 花き栽培 (コード 1002)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 花き栽培			1	21 / 4	年 月 から
	職種(英) Flower Growing			2	/	
指導科目(英) Cultivation of ornamental flowers	3	/				
プログラム番号・名 3030000000005		プロジェクト名 切花栽培				
地域経済活性化						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) コリエンテス州生産、労働観光省 (受入機関名)(英語) Ministry of Production, Labour and Tourism, Province of Corrientes					
	2) 配属先名 (日本語) コリエンテス州生産技術センター (英語) Center of Production Technologies (CETEPRO)					
	3) 任地 コリエンテス州コリエンテス市 首都(コリエンテス市)から 北西 方向 10 Km 主要都市(ブエノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 州内の農業生産者の生産性と生活水準向上を期待し、農産物生産技術の開発、研究及び普及を実施、また土壌分析、病害虫診断及び生産者、技術者及び学生を対象にした研修も実施している。我が国の協力としては、過去に、ミニプロ 1990-1993年(野菜栽培技術)、土壌、野菜栽培、病害の個別専門家及び「野菜種子生産」のSVの派遣(2003-2006年) (2007年度予算額65000トル/2273千円)実績がある。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同州は、南緯27度、面積88199Km ² 、人口900千人、年間雨量1293mm、平均年間気温は15~40℃で、概して農作物生産に適した土壌風土であり、主要産業は林業、稲作、マテ茶栽培、柑橘類栽培、野菜栽培である。しかし、概して収入は低迷している。こうした状況から、同センターでは代替作物の導入に積極的に取り組んでおり、その一つとして、地域の立地条件を活かした花卉栽培計画がある。この花卉栽培に関して、州政府は農村開発及び雇用機会の促進等に貢献するための有望な産業として期待しており、優先度の高い分野であるが、新規分野であるため人材不足は否めず、その育成が急務となっている。					
	2) 期待される具体的業務内容 - コリエンテス州の立地条件に適し、且市場商品価値の高い花卉種の選定。 - 選定した花卉種に関する評価、選抜及び増殖 - 花卉栽培技術指導(切花、プランタ栽培、亜熱帯気候の効果的な活用等について) - 生産技術の移転と評価 - 農家、技術者及び学生を対象にした研修・セミナーへの参加・実施					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農機具、ビニールハウス、灌漑設備、病害、土壌及びバイオテク研究室					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農学技師(男性3名、45歳-55歳)	5) 業務使用言語 ◎ スペイン語 () ○ 英語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: B)			
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	性別理由:					
	・学歴 大卒 農学 学歴理由: CPの学歴が大卒以上であるため					
	・経験 実務経験 15年以上 経験理由: CPの職歴が15年以上であるため					
	・花卉生産増殖技術経験 理由: 業務遂行上必要であるため					
理由:						
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輜 ○単車 ○自転車						
概地 況域	気候(亜熱帯性) 気温(15~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)		水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)			
電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)						



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 12 月 16 日

要請番号(SL 303 - 09 - C - 04)	調査者名: 羽根岡桂子
------------------------------	-------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 野菜栽培	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 4
	指導科目 野菜栽培			2	/
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英) Vegetable Growing			3	/
				年 月 日	から

プログラム番号・名 3030000000003 プロジェクト名 地域住民組織化プログラム
 地域住民組織強化

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) サンタフェ市役所 (受入機関名)(英語) Santa Fe City Hall
	2) 配属先名 (日本語) 社会開発局地方分権プログラム実行課 (英語) Unit of the decentralization, Secretariat of Social Development
	3) 任地 サンタフェ州サンタフェ市 首都(ブエノスアイレス市)から 北 方向 480 Km 主要都市(サンタフェ市(州都))までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、社会開発の中でも持続可能な環境管理及び都市管理に関し、特に個人・コミュニティの人材育成を通じた開発手法を指導している部署である。特に環境では家庭からの固形廃棄物、健康では偏った栄養摂取による特定栄養素の不足(特に子供)等が問題となっており、これらを解決するべく住民教育に力を入れている。関連人員45名、年間予算約19百万ドル。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同市内の貧困地区住民に対し、家庭の生ごみを有機肥料とした土壌改良及び野菜・果樹・花卉栽培指導を通じて、対象住民が適切な栄養を得る手段を確保し、自立の一助となるよう支援するプロジェクトを2008年より実施している。このプロジェクトはサンタフェ市が主体となり、INTA(国立農業技術院)が全国展開しているプロジェクトも関わっている。今回、2009年3月より新たにサンタロサデリマ地区をパイロット地区とし、その経験を他地区へ波及したいとの意図を持っているが、農業経験をほとんど持たない住民への農業指導及び指導経過を含めて監督できる人材がいらないことから、同プロジェクトへの協力を期待して、今回の要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先関係者とともプロジェクトに参加し、特に家庭の生ごみを使った土壌改良と野菜栽培に関し、以下の項目について指導助言することが求められている。 1. 地方政府の技術者グループと生産者組織関係者へのオリエンテーション 2. 市の西部地区に存在する様々な地域グループの人材育成 3. 計画的な対象地区巡回とプロジェクト進捗状況チェック及び見直し 4. プロジェクト実施経験のマニュアル化 5. パイロットプロジェクトでの成功体験を持つグループリーダーが次期プロジェクト指導者となるための人材育成	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC	

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性4名(社会開発部長、地方分権プログラムリーダー、社会活動部副部長、環境部副部長) 女性1名(社会開発プロジェクト実行課長)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
------	--	-----------------------------------	---

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	・経験 実務経験 5年以上 ・農業全般に関する知識 経験理由: 業務遂行に必要 理由: 業務遂行に必要 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地域	気候(亜熱帯) 気温(10~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
況	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 10 日

要請番号(SL 324 - 09 - C - 03)

調査者名:長谷川 辰雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 野菜栽培 (コード 1003)	●新規 ○交替 1代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 育種(園芸)			2	21 / 4
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英) Improvement of Breeding			3	/
					年 月 から
プログラム番号・名 3240000000010 小農自立化支援		プロジェクト名			
配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Department of agriculture and livestock				
	2)配属先名 (日本語) 国立農業研究所(IAN) (英語) The National agriculture research institute				
	3)任地 コルディジェラ県 カアクベ市 首都(アスンシオン)から 東 方向 49 Km 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧省に所属する農業研究機関で、主なテーマとして、野菜、果樹、バイオテクノロジー、土壌、線虫、病害、虫害等の部門がある。対象作物は、トマト、メロン、イチゴ、バナナ、マンゴ、アボカド、マカダミア、ステビア等である。学問的な研究は行っておらず、生産の現場で役立つ実用技術の開発が求められている。台湾の援助で花卉生産のプロジェクトを実施中。				
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイの農業生産者の83%を占める小農は、近年の綿花の国際価格の低迷により厳しい状況に置かれた。このため、生産性の向上・安定供給及び高品質化を目的とした小農野菜生産技術改善計画が、1997年より2002年まで、国立農業研究所(IAN)において実施された。同プロジェクトでは、育種、栽培、病害防除、虫害防除の実験室が整備され、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の活動と、開発された技術の普及が行われた。現在研究所の自助努力で活動を継続しているが、トマト及びイチゴの品種開発に補完的な技術移転が必要となっており、当該分野での研究アドバイザー派遣が要請されるに至った。				
	2)期待される具体的業務内容 小農野菜生産技術改善計画によって交配・選抜されたイチゴ及びトマトの選抜系統の圃場栽培試験、種子生産、苗増殖技術の指導				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 網室、ビニールハウス、冷蔵庫、冷凍庫、冷蔵室、実体顕微鏡、耕運機、トラクター、パソコン、生物顕微鏡、土壌分析メータ、温度記録計、デジタル糖度計				
資格条件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 育種研究室研究員(アスンシオン大学農学部卒、専門家のカウンターパート経験、日本での研修経験有)を指導対象とする。		5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()		6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: ・学歴 大卒 農学 学歴理由: 国立試験場での開発支援が求められている ・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 国立試験場での開発支援が求められている ・育種経験年数5年程度 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概地況域	気候(亜熱帯) 気温() 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 20 年 12 月 24 日

要請番号(SL 060 - 09 - C - 01)

調査者名: 立田 亜由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ネパール	職種 果樹栽培 (コード 1004)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3	年 月 から
	指導科目 柑橘栽培			2	21 / 4	
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英) Citrus Cultivation			3	/	

プログラム番号・名: 農業農村開発プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives

2) 配属先名 (日本語) 中央園芸センター
 (英語) Central Horticulture Center

3) 任地 カトマンズ郡キルティプール市
 首都(カトマンズ)から 南西 方向 5 Km
 主要都市(カトマンズ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先は日本の協力により設立され、1988年から12年間温帯果樹栽培技術の開発普及プロジェクトが実施された。その後02年から5年間ボランティアプロジェクト園芸普及計画が実施され、主に日本種の甘柿の栽培普及に取り組んだ。事業内容としては主に温帯果樹の栽培技術研修、品種の保存、一般配布用の種苗の生産を行っている。年間予算約1200万円。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 1988年から行われたプロジェクトの期間中、柑橘を代表とした様々な温帯果樹の品種が導入された。柑橘は同国の主要な果樹生産品目であり特に丘陵地の農民の収入向上に貢献している。しかし、栽培品種は限られており、収穫後の保存技術も乏しいため、果樹栽培農家の収入を向上させるには、新たな品種の導入によって収穫期間を伸ばす必要がある。しかし、配属先には最近の柑橘品種に関するノウハウがなく、支援が必要とされているため今回の要請に至った。前任者のSVは日本種甘柿の栽培普及を主眼に活動しているが、柑橘栽培の専門性を活かし同要請の先駆け的活動も行っている。

2) 期待される具体的業務内容
 (1) 柑橘品種の導入支援
 (2) 在来及び導入柑橘品種に関する野外調査
 (3) 農場職員を対象とした柑橘の栽培・試験栽培の技術指導
 (4) 日本の最近の柑橘栽培技術の紹介

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 基本事務機器、栽培指導に必要な道具はそろっている。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長(50歳代 男性)、技官(果樹開発、土壌、植物病理、農業普及 各1、2名)、技官補及びアシスタント各1名。いずれも15~25年の経験あり。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
--	-----------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 専門知識が必要なため
 学歴: 大卒 農学
 経験理由: 果樹試験場での柑橘栽培経験が必要
 経験: 実務経験 15年以上
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性
 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 2 月 10 日

要請番号(SL 215 - 09 - C - 11)

調査者名:石濱由実子V調整員

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
	(コード 1004)			JOCV/SV	日系/短期等
コスタ リ カ	職種 果樹栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 アグロフォレストリー			2	21 / 4
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英) Agroforestry			3	/
年 月 から					
プログラム番号・名 2150000000007		プロジェクト名			
国内産業競争力強化プログラム					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 熱帯農業研究教育センター (受入機関名)(英語) Tropical Agriculture Research and Higher Education Center				
	2)配属先名 (日本語) 熱帯農業研究教育センター (英語) Tropical Agriculture Research and Higher Education Center(CATIE)				
	3)任地 カルタゴ県トゥリアルバ市 首都(サンホセ)から 東 方向 67 Km 主要都市(トゥリアルバ市中心部)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1942年にアメリカ農務長官が提唱、コスタリカ政府が賛同し前身である組織が設立され、1973年に現在の配属先が設立。熱帯農業の研究と高等教育を目標としている。現在は中南米13カ国がメンバーとなっており、同センターで開発研究された技術はメンバー国に共有されている。また、修士・博士号の取得が可能な教育機関でもあるため外国からの留学生も多い。職員数481名(内研究員150名程度)、年間予算約25億円。				
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同センターでは、熱帯植物(コーヒー、バナナ、カカオなど)を対象に、栽培や品種改良の研究及び品種の保存を行っている。現在ノルウェー等の資金援助により中米広域を対象としたカカオと林木と果樹を複合したアグロフォレストリー(農林複合経営)システム構築のためのプロジェクトに取り組んでいる。施設内農場だけでなく、タラマンカ地方(配属先から東方向約150km、カリブ海方面)のカカオ農場も対象としている。適切な果樹の選定及び栽培等について日本の経験・技術をとりたいとの要望があり、要請に至った。 (英語HP http://www.catie.ac.cr/Magazin.asp?CodIdioma=ENG)				
	2)期待される具体的業務内容 1か月のうち、約1週間程度はタラマンカ地方に出張し現場での調査等を行い(農場施設などに宿泊)、その他は配属先施設内の種保存農場(50ha、数千品種の熱帯果樹を栽培)を中心に必要に応じて研究室でも業務を実施する。 ・配属先農場(標高約600m)内及びタラマンカ地方のカカオ農場において、カカオ、林木との混合栽培に適した経済価値の高い果樹の評価・選定を行う。害虫耐性、気象・土壌への適応、収穫後の保存性、市場価値等を考慮する。 ・現在候補としている果樹は、コーヒー、サポーテ、グアバ、グアナバナ(トゲバンレイシ)、やし等の熱帯果樹であり、カカオ品種についても選定を行う。 ・カカオプランテーション農家に対し選定した果樹栽培についての研修を実施し、低所得地域住民の所得向上をめざす。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務机、コンピューター(インターネット可)、電話、FAX、実験農場(50ha)、生物化学研究室(組織培養施設、オートクレーブ、遠心分離機、顕微鏡、各種検査機器)				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル アグロフォレストリー部門長 男性 アメリカ人 博士 同僚研究員 コスタリカ人男性 40歳代 修士他 持続的植物資源利用プロジェクトメンバー及び学生20名程度 プロジェクト対象地域農民		5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ 英語 ()		6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ スペイン語 (レベル: B)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	性別理由:				
	・学歴 修士 農学 学歴理由:修・博士号の取得が可能な教育施設のため				
	・果樹研究経験5年以上 理由:同僚職員の技術レベルも高いため				
理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				N	
概 況	気候(亜熱帯) 気温(20~33℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)				



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 12 月 10 日

要請番号 (SL 306 - 09 - C - 02)		調査者名: 横島賢太郎				
国名	職種 / 指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 果樹栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	JOCV/SV 21 / 3	日系/短期等 年 月 から
	指導科目 果樹栽培			2	21 / 4	
	職種(英) Fruit Growing			3	/	
指導科目(英) Fruit Growing						
プログラム番号・名 その他		プロジェクト名				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 財務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Finance					
	2) 配属先名 (日本語) サンファン市役所 (英語) Public Government Office of San Juan					
	3) 任地 サンタクルス県サンファン市 首都(ラパス市)から 南東 方向 850 Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンファン市は、人口約9千人を抱えており、亜熱帯気候に属している。50年を超える歴史があるサンファン日系移住地を中心に発展しており、陸稲、大豆、養鶏等でボリビア農業の近代化に貢献している。市役所は日系移住地の中心部に位置し、行政機関として、社会、保健医療、教育関係等の公共サービス全般を担っている。2008年の予算は74万US\$/約8千万円。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サンファン市役所は、畑作、稲作、果樹栽培などの農業の普及に意欲的な市役所である。サンファン市の近郊農家では、従来の農産物に加え、90年代より新規戦略商品として柑橘類(オレンジ、みかん、レモン等)の栽培に力を入れている。今後も継続して、栽培規模の拡大、品質改善に取り組む必要があるが、そのためには専門知識、経験を有する技術指導者の存在が不可欠である。同地域の主力農産品である柑橘類の栽培管理法を定着させるには、長期的な改善指導が必要とされ、同市役所の農業担当技師や周辺の地域住民に対して当該技術の指導・助言を行なえる人材を得るべく、本件要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 サンファン市役所を拠点として、同市スタッフ及び近隣農家に対し、以下の技術指導を行う。 ■ 柑橘類の栽培管理(接木繁殖技術、母樹の選抜、優良台木選抜、栽植地選抜法、病虫害対策など)に関する指導・助言 ■ 講演会やセミナーの企画・実施					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回指導用車両、机、椅子					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性1名 農業技師 40歳代 レベルは中級。 柑橘農家は性別、地位、年齢ともに多様。専門知識は日系農家は中級、ボリビア人農家は不十分。		5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) □ スペイン語 (レベル: C)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	性別理由:					
	・学歴 短大卒 農学			学歴理由: 業務を円滑に進めるために必要		
	・経験 実務経験 5年以上			経験理由: 農家への実地指導を行うため		
理由:						
理由:						
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○ 有 ● 無 ○ 車両 ○ 単車 ○ 自転車						
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(15-35 ℃位)		電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)	水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)		
	電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし)					

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄
 受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 5 日

要請番号(SL 045 - 09- C - 01)

調査者名: 多賀谷 健司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
モンゴル	職種 組織培養 (コード 1005)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 植物細胞培養			1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Tissue Culture 指導科目(英) Plant Cell Culture			2	21 / 4	
		3	/			

プログラム番号・名 0450000000010 プロジェクト名
 自然環境保全・自然資源適正利用支援プログラム

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 教育文化科学省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Culture and Science

2) 配属先名 (日本語) モンゴル科学アカデミー生物研究所植物細胞培養研究室
 (英語) Mongolian Academy of Sciences, Institute of Biology, Plant Cell Culture Laboratory

3) 任地 ウランバートル
 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 モンゴル科学アカデミー生物研究所は1965年に創立された。一般生物、微生物、バイオテクノロジーの分野に80人以上の科学研究者が従事している。研究者は60以上の専攻論文、研究論文、多くの国の科学雑誌に2,000以上の研究成果を投稿している。今回ボランティアを要請している植物細胞培養研究室は、その10の研究室の一つである。研究室の予算は年間約250万円。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 この研究室では今年より3年間のプロジェクトを組み「モンゴルの希少で絶滅に瀕している薬用植物の生物工学的研究」を行っている。モンゴルでは多くの薬用植物が生育地の破壊や無差別な採取により危険に晒されている。研究室は、甘草、ペガナムハルマルの研究を開始し、植物細胞培養とクローン微細繁殖に成功し、いくつかの苗木は温室外に移植することに成功した。甘草の植物細胞培養の結果、培養されたバイオマスの中でグリシルリジン酸の含有量を測定した。これらの研究成果を発展させるため、この分野におけるボランティアの助言と研究技術及び知識のレベルを高めるのが要請の理由である。

2) 期待される具体的業務内容
 植物細胞、組織培養にかかわる新しい方法や技術の高度な専門知識を要求される研究を促進するため、ボランティアは下記が期待される。
 1) 研究員に対する支援及び助言。
 2) 研究者、大学の教師、大学生に対するセミナーの開催。
 3) 共同研究の結果を国際ジャーナル・雑誌に発表すること。
 4) モンゴル植物・生物工学の研究者との野外研究旅行、議論、会議に参加する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 Spectrophotometer (USA) UV-2102C、Electron microscope (日本) OlympusCK2、Growth chamber (日本) RKJ IL-60 など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 研究室長 女性 (40代、PhD)
 同僚4人 女性 (20代、修士・学士)
 学生4人 (モンゴル国際大学)

5) 業務使用言語
 ○ 英語
 ()
 ● モンゴル語
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: A)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 大卒 業務関連分野 指導に必要
 経験理由: 実務経験 15年以上 支援・助言に必要
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況域

気候(大陸性) 気温(-30~30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日育 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 2 月 2 日

要請番号(SL 045 - 09 - C - 07)

調査者名: 多賀谷 健司

国名	職種 / 指導科目 (コード 1005)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 組織培養	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 組織培養			2	21 / 4
	職種(英) Tissue Culture 指導科目(英) Tissue Culture			3	/

プログラム番号・名 0450000000006 プロジェクト名 牧地と農牧業再生プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 食料農牧省
(受入機関名)(英語) Ministry of Food and Agriculture

2) 配属先名 (日本語) 植物科学農業研究所
(英語) Plant Science and Agricultural Research Training Institute(PSARTI)

3) 任地 ダルハン
首都(ウランバートル)から 北 方向 240 Km
主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
モンゴルの農業発展のための政策の中で、研究、教育と生産活動を合理的に組み合わせることで、国の農作物セクターの持続的発展のために、農作物科学の研究、農業、自然環境保護、土地管理分野での研修を行い、同時に主要な農作物のエリート栽培種子を生産し、供給する。研究部門は7、教育部門は6学部、6研究所を持ち、1400人の学生と50人の教職員からなる。予算は約26万米ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
気候変動に対応するため、モンゴルの農業部門は新しい技術、新しい作物品種又は多様な品種を必要としている。現在、果実の生産量は必要とされる消費の85分の1であり、健康・衛生水準を満たしていない。現在、植物生命科学ラボでは組織培養によりウイルスフリーのジャガイモ種の生産だけに集中しており、耐寒性の果樹、小果実(キイチゴ類)の導入・繁殖により果実の生産を増大することが不可欠となっている。そこで、耐寒性のある果物遺伝資源探索と果樹繁殖法と苗木育成に経験を積んだボランティアが要請された。

2) 期待される具体的業務内容
果樹繁殖のため組織培養、バイオテクノロジーを応用して研究・生産活動をおこなう。又、品種改良のためのバイオテクノロジー応用について研究者・学生に講義をおこなう。実験をおこなう優先作物は ①リンゴ ② クロフサスグリ ③ サジ ④キイチゴ等である。実験は下記点を含む。
・組織培養のための移植片の選択
・それぞれの果樹に適した培養基組成の選択
・茎頂培養法の開発

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
Media preparation and washing room, Transference and 2 culture rooms, Lamina flow clean bench等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚研究者:女性、40歳代、2名 指導対象: 研究者、学生	5) 業務使用言語 ○ 英語 () ● モンゴル語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N: A) □ (V/N:)
--	--	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由: 活動に必要
経歴理由: 研究及び講義に必要
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性
○ 有 ● 無 ○ 車輦 ○ 単車 ○ 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況 気候(大陸性気候) 気温(+30~-30℃位) 電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)
電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 8 日

要請番号(SL 227 - 09 - C - 02)

調査者名: 中野 敦彦

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサル バドル	職種 組織培養 (コード 1005)	○新規 ●交替 5 代目	◎2年	1	21 / 3
	指導科目 組織培養		○1年	2	21 / 4
	職種(英) Tissue Culture 指導科目(英) Tissue Culture		○ヶ月	3	/
プログラム番号・名 基礎教育を中心とした教育の質の向上		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock				
	2) 配属先名 (日本語) ロベルト・キノネス国立農業学校 (英語) Roberto Quinones National Agriculture School				
	3) 任地 ラ・リベルタ県コロソ市 首都(サンサルバドル市)から 西 方向 33 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1956年に創立した国内随一の全寮制農業学校で果樹園芸、農学、畜産養殖の3科より成る。レベルは3年制の農業高等専門学校に相当。同学校では農業技術者の養成及び、小中農業生産者への講習を実施している。生徒数は約100名であり、敷地内には147hの農場、教室、研究室が入る学棟がある。2009年度予算は約126万USD。外国の技術援助は青年海外協力隊のほかに台湾政府が行っている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エルサルバドル国内において同校の研究室は組織培養分野で国内随一を誇り、植物バイオテクノロジー分野における実験 植物病理診断(ELISA)および核酸の電気泳動を行なうための機器・試薬がある。しかし当国内において、未だ本分野の発展は遅れており、これは技術者がこれらの基本的な操作、実験、研究を行なえる技術レベルに達していないことに起因している。これら植物バイオテクノロジー分野における技術指導を推進していくための機器・試薬が整っているところ、協力隊員(16年度3次隊)が行ってきた樹木培養の研究指導を含め、当該分野の全般的な技術指導を目的とするSV要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 研究室の管理・運営をしながら以下の3点の業務が求められる。 ・核酸、タンパク質を用いた植物の病理診断を中心に植物バイオテクノロジー分野の技術発展のために、国内の技術者および同校の学生に対し指導及び抗議を行い、技術者を養成する。 ・樹木の培養の研究においては国内唯一の機関であり、樹木培養(胚性体細胞培養法)への助言を行い、将来的に植林分野において関連機関への情報提供が行えるように支援する。 ・研究室で培養法の確立されているラン、プラタノ、サトウキビ、ジャガイモ、キクの培養法の改良に係る指導・助言を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 組織培養に必要な機器、試薬等一般。マイクロピペット、遠心管、エッペンドルフチューブ、UV照射器、水平式泳動槽、泳動用電源、ELISA解析機、ELISA洗浄機等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフは室長(30代・農学技師)、生物工学科教諭1名(30代・農学技師)、テクニシャン5名(20代・高卒)。指導対象者は学生(高卒18~22歳位)、研究室の同僚(大卒、高卒20~40歳位)。		5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	性別理由:				
	・学歴 大卒 生物工学		学歴理由: 同分野の専門知識を持つ人材を必要とする。		
	・経験 実務経験 10年以上		経験理由: 指導活動に十分な経験を必要。		
	理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概地 況域	気候(サバナ) 気温(20-35℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 6 月 30 日

要請番号(SL 048 - 09 - C - 05)		調査者名: 柴崎 栄司				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 病虫害対策 (コード 1101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目 総合的病虫害管理			1	21 / 3	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Disease and Pest Control			2	21 / 4	
指導科目(英) Integrated Pest Management	3	/				
プログラム番号・名 農業技術開発・普及プログラム		プロジェクト名				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture					
	2) 配属先名 (日本語) 農業局 国立植物防疫センター (英語) National Plant Protection Centre, Department of Agriculture					
	3) 任地 ティンブー県シムトカ 首都(ティンブー)から 南 方向 7 Km 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同配属先は主要農産物の総合的病虫害管理を行う機関である。病虫害診断やその対策、農業の提供、農業普及員や農家へのトレーニング、普及活動などを行っている。植物病理課、昆虫課、雑草脊椎動物課、農業課で構成されている。年間予算は約170万ドル。2008年からは、EU支援で農業支援サービスプロジェクトが開始し、7郡の農民へ病虫害管理を含む総合的技術指導を行う予定。TICAも昆虫学ボランティア派遣を計画中。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先スタッフの多くは海外留学で知識だけは有しているが、実際の経験に乏しく、十分なサービスを農民に提供できない状況にある。近年においては、シトラスグリーニングの被害が大きく、貧困層の多く南部において著しい。また、ブータン独特の背景が、対策の手段を制限している(殺生を嫌うので殺虫剤は使いたくない、有機栽培への過剰な期待、限られた農業市場等)。このような背景において、農作物、特に果樹についての総合的病虫害管理のアドバイスが求められ、要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・農作物、特に果樹についての総合的病虫害管理を、ブータンの文化、農民の気質や経済力に配慮しながら、同僚スタッフと共に確立する。必要に応じて、地方の農家を巡回し、現場での指導を行うことも期待される。シトラスグリーニング対策が第一優先。対策を講じるにあたり、既に試みられている現地的手法(薬草との混栽など)も考慮する。 ・シトラスグリーニングの診断のために、PCRでの分析技術をラボラトリー技師に指導する。 ※病虫害対策や野菜栽培指導は、各ゲオッグ(郡に相当:205郡)に配置された農業普及員や、国内4か所の農業試験場スタッフが行っている。病虫害に感染した場合は、彼らからまず情報が入り、サンプルの診断、アドバイスを行う。 ※他農業試験場には他のボランティアが赴任中であり、技術的支援も期待される。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Eppendorf社製Mastercycler(PCR)、遠心分離機、マイクロピペット等実験器具一式、顕微鏡					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル シニアオフィサー4名(農業、病虫害、果樹等マスター所持、30~40代、経験5~10年) ラボラトリー技師2名(大卒、30代、経験10年程度)		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I ^h M: A) □ (I ^h M:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: ・学歴 大卒 業務関連分野 学歴理由: 植物病理学の学歴が必須 ・経験 実務経験 10年以上 経験理由: 実践的な対策を確立するために必須 ・PCR分析 理由: 期待される業務に必要 理由:					
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度		
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車						
概地 況域	気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5 ~ 30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)					

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 9 日

要請番号(SL 251 - 09 - C - 13)

調査者名: 綿引純男調整員

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 病虫害対策 (コード 1101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 病虫害防除			1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Disease and Pest Control			2	21 / 4	
指導科目(英) Control of Plant Disease and PLAGUES	3	/				

プログラム番号・名 プロジェクト名
 地方貧困削減のための地域開発モデルプログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧研究庁 (受入機関名)(英語) Panamanian Institute of Agricultural Research (IDIAP)
	2) 配属先名 (日本語) 農牧研究庁オジャス・アリバ試験場 (英語) IDIAP - Experimental Station of Ollas Arriba
	3) 任地 パナマ県カピラ市 首都(パナマ市)から 南西 方向 54 Km 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は農林水産業の生産性向上を目的に、調査・研究および生産者への指導を行う農牧省内の機関である。プログラム計画2005-2015では、食の安全性、農産物の競争力、持続的な農業、国家的農業技術力の強化を上位目標に取り組んでいる。同試験場は、農業技師3名、同助手2名、作業員5名他、計14名のスタッフ。プロジェクト予算は、8,000米ドル。他に機材購入予算として、23,000米ドルを計上している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では、近年の農産物輸出において、国際的に化学農薬の使用規制が厳しくなってきたため、減農薬による病虫害対策が重要視され、組織を挙げてこの対策に取り組んでいる。しかし、豊富な経験と知識を持ち合わせた人材が不足しているため、今回の要請があげられた。主にトマトに被害をもたらす、Mosca Blanca(コナジラミ)に対する寄生防除の研究に取り組んでいる。同試験場は15hの面積で、他に、薬草栽培と野菜等の種子採取のプロジェクトに取り組んでいる。		
	2) 期待される具体的業務内容 主な対象作物はトマトであるが、その他国内生産・消費される様々な野菜類も対象として以下の業務が期待されている。 ① 害虫天敵の飼育 ② 寄生防除法の策定 ③ 総合防除による、トマト等野菜栽培法の確立		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、執務机、基本的な検査器具		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物防除プロジェクト責任者: 女性(昆虫学修士)、50歳代、本庁勤務 同試験場同僚: 女性(バイオテクノロジー技師)、30歳代 同試験場同僚: 男性(農業助手)、50歳代	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: C)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 修士 農学	学歴理由: 高度な知識と技術が求められるため	
	・経験 実務経験	経験理由: 高度な知識と技術が求められるため	
	理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況域	気候(熱帯) 気温(25-35) ℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄
受験番号

長期(JV 日青 SV 日SV)
短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

記入日:平成 20 年 7 月 4 日

要請番号(SL 315 - 09 - C - 03)

調査者名: 清水 義朝

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コロンビア	職種 病虫害対策 (コード 1101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 植物病理			2	21 / 4
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Plant pathology			3	/

プログラム番号・名: 教育の質とアクセス向上プログラム
プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) コロンビア農牧研究公社
(受入機関名)(英語) Colombian Corporation of Agricultural Research; CORPOICA

2) 配属先名 (日本語) コロンビア農牧研究公社
(英語) Colombian Corporation of Agricultural Research; CORPOICA

3) 任地 クンディナマルカ県モスケーラ
首都(ボゴタ)から 西 方向 20 Km
主要都市(ボゴタ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
正規職員約1200名、臨時職員等約300名を擁するコロンビア最大かつ中心的な農業研究機関。年間事業費は42億円。さらに、年間数百人規模の学生を受け入れ、教育機関としても重要な役割を果たしている。主要部門であり、ボランティアが勤務する生物技術産業センター(CBB)は150人の正規職員を抱え、事業予算は年間5億円。病虫害管理を目的とした様々な研究を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同国における農業上の最大の問題の一つが農業の不適切な利用、とくに多用である。また、危険度の比較的高い農業が価格や効果の面から多用される傾向にあり、その使用は無秩序であることから環境や人体に与える影響はもとより、害虫のリサーチジェンズあるいは耐性菌の出現などが危惧される現状である。現在、病原微生物(ウイルス含む)の探索、同定、病原に対する拮抗微生物の探索など、生物防除法の確立を目指しているが、作物の病気要因の解析、そして作物の病原および病原に対して抑制作用をもつ微生物の遺伝子学的分類についての技術、知識が不足しているため、ボランティアへの協力要請となった。

2) 期待される具体的業務内容
以下①の活動を行う。可能であれば②及び③の活動も行う。また、業務は英語でも可能。
①重要作物の病害の原因解明の支援。
具体的には、罹病個体から病原体を分離、純粋に培養し、その性状を調べるとともに、接種試験を行って病気が再現されるかどうかを確認する。
②断定された病気の拮抗微生物等微生物農薬候補種の検索、分離、純粋な培養、効果試験の支援(生物農業開発)。
③①②で分離された微生物の遺伝子学的な分類の支援。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
PCR、シーケンサー、実態顕微鏡、光学顕微鏡、電子顕微鏡、核酸増幅装置、リアルタイム核酸増幅装置など。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
・所属部署長はJICA帰国研修員、研究歴26年、植物病理学専門
・日本人研究員、研究歴10年 植物生理学専門
・その他多数の研究者が活動を共にする

5) 業務使用言語
● スペイン語 ()
○ 英語 ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: D)
□ スペイン語 (レベル: C)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由: 同僚たちは修士以上、同等な業務の最低学歴
経験理由: 同僚たちの経験年数と同レベルの経験が必要
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性
○ 有 ● 無 ○ 車輜 ○ 単車 ○ 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地域 気候(温帯) 気温(5~25℃位) 電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)
電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 10 日

要請番号(SL 324 - 09- C - 04)

調査者名:長谷川 辰雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 病虫害対策 (コード 1101) 指導科目 作物病虫害対策	●新規 ○交替 1 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1 21 / 3 2 21 / 4 3 /	年 月 日 から
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Disease and Pest Control				
プログラム番号・名 324000000010 プロジェクト名 小農自立化支援					
配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Department of agriculture and livestock				
	2) 配属先名 (日本語) パラグアイ農業総合試験場(CETAPAR) (英語) Paraguay Agriculture and Livestock Technology Center				
	3) 任地 アルトパラナ県イグアス市 首都(アスンシオン)から 東 方向 280 Km 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1962年にパラグアイ各地に移植した日本人移住者の営農の安定と振興を図るために開設されたJICA直営の試験農場は、その後統合され現在のCETAPARとなり、日系人農家に限らず地域農家を対象とした技術支援活動を展開してきた。2000年からは地域農業振興を目標に掲げ、技術協力プロジェクトが実施されており、2010年4月にJICAから日系農協中央会へと移管される予定である。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイの特に穀物生産性が高い南東部地域においては、これまでの夏作で大豆、冬作で小麦を中心とした作付体系から、近年では地力維持向上を目的とする輪作体系や穀物の国際相場の不安定さからトウモロコシやヒマワリなど多種に渡る作付け作物が加わっている。作付け作物の多様化や気候の変動等により、病虫害は時期を問わず発生する傾向があり、また農業等の資材費が高騰していることから、的確な農業散布が重要となっている。一方、前述のとおり作付体系の変化に対応できていない面があることから、主にラボラトリーでの迅速な病害診断体制や防除方法の確立を支援するボランティアが求められている。				
	2) 期待される具体的業務内容 下記項目について、スタッフとともに取組みながら技術指導を行う。 ①病害(ウイルス、細菌、糸状菌)同定 ②作物(大豆、小麦、トウモロコシ、ヒマワリ等)、野菜(トマト、メロン等)の病害発生調査 ③試験圃場での各種農業散布による効果比較試験 ④生産コスト面を重視した病虫害防除法の確立および普及 ⑤病害の発生予察の検討 ⑥虫害診断の指導				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 クリーンベンチ、インキュベーター、光学顕微鏡、実体顕微鏡、PCR機材一式、オートクレーブ、乾熱滅菌器、冷蔵庫等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 病虫害担当スタッフ(男性1名-40歳代前半、女性1名-50歳代前半)、大学農学部卒、本邦技術研修経験有り。他に検査補助員2名(農業学校卒など)。		5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	性別理由:				
	学歴理由:				
	・経験 実務経験 10年以上 経験理由: 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概地域	気候(亜熱帯) 気温()		0~40℃位	電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)
況域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)				



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 09 - C - 10)	調査者名:長谷川 辰雄
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 病虫害対策 (コード 1101) 指導科目 病害防除	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Plant Diseases			2	21 / 4
				3	/

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) 国立農業研究所 (英語) National Institute of agriculture
	3)任地 コルディジェラ県カアクペ市 首都(アスンシオン市)から 東 方向 45 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同研究所では、1997年から2002年まで、JICAによって「小農野菜生産技術改善」プロジェクトが実施された。同プロジェクトでは育種、栽培、病害防除、虫害防除の各分野の実験室が整備され、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の活動と、栽培技術の普及が行われてきた。2005年4月から虫害防除のSV、2007年3月から病害防除のSVが派遣されてきた。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイでは人口の半数近くが農村部に分布しているものの、小農対策は最も対応が遅れており、国内では30%弱にものぼる土地なし農民が存在する。これら小農の生産基盤および生産技術強化、生産物の多様化や付加価値の向上は農業セクター強化の支柱になる。研究所ではこれら背景を踏まえ、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の開発と合わせてこれら適正技術の普及を行ってきた。プロジェクト終了後は独自に活動を継続してきたが、専門的な技術指導が必要となり、ボランティアの要請に至った。		
	2)期待される具体的業務内容 前任SVの活動をさらに機能的かつ効率的に進めるため、下記項目についてカウンターパートへの指導を行う。 ①野菜(トマト、ナス、メロン等)の病害の実態調査 ②病害(ウイルス病、細菌病)の同定 ③これら病害の防除方法の開発 ④病害防除にかかる技術指導と普及活動		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 光学顕微鏡、クリーンベンチ、恒温器、オートクレーブ、乾熱滅菌器、冷蔵庫、実体顕微鏡		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 植物用理研究員(男性、30歳後半)、大学農学部卒、プロジェクトの日本人専門家のカウンターパート経験・本邦技術研修経験有り。	5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:		
	・経験 実務経験 5年以上 経験理由:実務を通じてカウンターパートへ指導を行うため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(亜熱帯) 気温(5~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	--

平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 8 月 4 日

要請番号(SL 033 - 09 - C - 08)

調査者名: 渡辺憲夫、古川寛

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
中華人民共和	職種 土壤肥料 (コード 1102)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 土壤改良			1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英) Soil improvement			2	/	
		3	/			

プログラム番号・名 0330000000007 プロジェクト名
 両国民の直接交流支援

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 黒龍江省科技厅 (受入機関名)(英語) Heilongjiang Science and Technology Department
	2) 配属先名 (日本語) 安達市先源郷友誼牧場 (英語) Andashi xianyuanxiang youyi ranch
	3) 任地 黒龍江省安達市 首都(北京)から 北東 方向 1000 Km 主要都市(ハルビン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当牧場は1958年設立。乳牛の飼育、飼料生産、草地改良を主な事業としている。畜舎5棟を有し、乳牛数は410頭、そのうち牛乳の生産可能な乳牛は280頭。牛乳の年間生産量は6,100kg。なお、当牧場はJICA「中国黒竜江省酪農乳業発展」技術協力プロジェクト(2001年7月1日～2006年6月30日)のサイトの一つであった。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2006年に終了したJICA「中国黒龍江省酪農乳業発展」プロジェクトでは、①サイトの牧場における飼料生産技術を確立する、②サイトの牧場における飼養管理技術を確立することを目指す技術協力が行われ、プロジェクト終了時には目標が達成されたが、アルカリ土壌の改良、牧場の牛糞尿処理、乳業の繁殖障害についてプロジェクトの技術を十分に活かしておらずSVの派遣が要請された。付近一帯はアルカリ土壌で飼料生産の障害となっている。		
	2) 期待される具体的業務内容 中国JICAボランティア活動は両国民の直接交流支援を目的としている。以下の業務を行ないつつ、日本と中国の交流の一助となることが求められている。 1.アルカリ地帯の土壌の改良をカウンターパートとともにこなう。 2.当牧場スタッフの土壌改良技術向上支援。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 TMR混合機8m3、乳牛用体重測定機、どうもろこし収穫機JD1780、草刈機JD702、トラック、トラクター		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 牧場スタッフは29名。学歴は高校卒から大学院卒までさまざま。年齢は20代～50代。	5) 業務使用言語 ● 中国語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 業務を遂行するために必要	
	・経験 実務経験 15年以上	経験理由: 業務を遂行するために必要	
	理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			

概地域	気候(亜寒帯) 気温(-27~31℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	--

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 受験番号

記入日:平成 21 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 09 - C - 09)

調査者名:長谷川 辰雄

国名	職種/指導科目 (コード 1102)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パラグアイ	職種 土壌肥料	○ 新規	◎ 2 年	1	21 / 3	
	指導科目 土壌分析			◎ 交替	2	21 / 4
	職種(英) Soils and Fertilisers				3	/
	指導科目(英) Soil Analysis	2 代目	○ ヶ月			

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) ピラル大学
 (受入機関名)(英語) University of Pirar

2) 配属先名 (日本語) 基礎・応用生態学研究室
 (英語) Laboratory of basic and applied ecology

3) 任地 ニェンブク県ピラル市
 首都(アスンシオン市)から 南西 方向 350 Km
 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 ピラル大学基礎・応用生態学研究室は、学長直属の研究室でニェンブク地域の水系と水系生物の研究及び土壌の分析を行っている。同研究室ではこれまでに土壌分析の短期専門家や農牧省配属のSVらの指導により、土壌分析の基盤が整備された。2006年から前任SVが、土壌分析データの活用と施肥試験を含む栽培試験の技術移転を行った。その他、KOICAにより2006年から淡水養殖技術の技術移転が行われた。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 前任SVは土壌分析に基づいたニェンブク県の土壌に適合した土壌診断基準・施肥標準の策定への技術指導が求められ、既存のデータの解析より、リン酸と窒素が不足しがちなことと収量性が低いことで肥料購入が出来ない状況を解明した。そこで施肥の前提となる収量性の向上と上記項目の策定を目的として、施肥をはじめとする一連の栽培試験が計画され、試験方法の技術移転が行われた。今後、更なるデータの蓄積、およびそれに基づいた栽培条件の実証とニェンブク県の土壌に適合した土壌診断基準・施肥標準の策定が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
 カウンターパートに対して以下の項目について指導する。
 ① トウモロコシ・綿を対象とした収量性の向上を目的とした施肥試験を含めた栽培試験。
 ② トウモロコシ・綿を対象とした施肥試験に基づいた土壌診断基準・施肥標準の策定。
 ③ その他ニェンブク県の土壌に適した栽培品種の試験。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 分光光度計、pHメータ、伝導度計、播種器、巻尺

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 ① 土壌分析: 大学助教授、30歳代、農学士
 ② 栽培試験: 大学教授、60歳代、農学士

5) 業務使用言語
 ◎ スペイン語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 大学の助教授への助言が求められる
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 有 無 車輦 単車 自転車

概地況 気候(亜熱帯) 気温(5~40℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 10 日

要請番号(SL 306 - 09 - C - 03)

調査者名:横島賢太郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 農業改良普及員			1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	21 / 4	
指導科目(英) Extension of Agriculture Improvement	3	/				

プログラム番号・名 小規模農家の貧困削減(生産性向上) プロジェクト名

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 財務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Finance
	2)配属先名 (日本語) サンタクルス県庁農牧部 (英語) Stock raising Division of Santa Cruz Prefecture
	3)任地 サンタクルス県サンタクルス市 首都(ラパス市)から 南東 方向 800 Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同機関では、小規模生産者を対象に技術革新支援や環境持続性に配慮した農業技術の開発、小農の貧困対策等に取り組んでいる。県内の農業としては、中央部では肉牛、西部では大豆、米、麦等、西南部の山間地域では野菜、酪農等、南部では森林、東部が肉牛、森林等が挙げられるが、これら農民の収入向上を狙いとして、現在56名の普及員を各地域に配置し、農民への技術指導を行っている。年間予算は約6万ドル(約6百万円)

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 県内の農村地帯では、特に小規模農家においては、厳しい自然条件や適正技術の開発の遅れ等から、農業収入が伸び悩んでいる。県庁としても県内各地域に農業普及員を配置し、農家に対する栽培技術の指導等に取り組んでいるが、農業普及員が豊富な経験に裏付けられてはいないため、必ずしも実践的な指導になり得ていない。このため、当該分野において知識・経験のより豊富な人材から、より実践的な指導・助言を得たいとして本件要請に至った。		
	2)期待される具体的業務内容 県の農業普及員に対し、以下の指導を行う。 ■農業普及の手法に関する指導・助言 ■農民組織化を含む農業普及システムの運営に関する指導、助言 ■農業普及マニュアルの作成指導		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回指導用車両、机、椅子		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性1名 農業技師 40歳台 レベルは中級。 普及員20-50代、レベルは初級～中級 農家は性別、地位、年齢ともに多様。レベルは不十分。	5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) □ スペイン語 (レベル: C)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
		性別理由:
	・学歴 短大卒 農学	学歴理由:業務を円滑に進めるため
	・経験 実務経験	経験理由:農家への実地指導を行うため
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------	---



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

要請番号(SL 124 - 09 - C - 09)

調査者名: 高谷 幸彦

国名	職種 / 指導科目 (コード 1903)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パプア ニューギ	職種 農業生産技術 指導科目 実験指導	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Lecture for experimentation			2	21 / 4	
3	/					
プログラム番号・名 1240000000006		プロジェクト名				
人材育成プログラム						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Department of Education					
	2) 配属先名 (日本語) ゴロカ大学 (英語) University of Goroka					
	3) 任地 ゴロカ 首都(ポートモレスビー)から 北西 方向 320 Km 主要都市(ゴロカ市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パプアニューギニア大学教育学部が発展し、教育学部・理学部・人文学部を持つ総合教育大学として1997年に独立した。国内唯一の高校教員養成大学で、卒業生のほとんどは国内の高校教師となる。学生約1,600人、年間予算800万キナ(約3億円)。2005年に無償資金協力により、多数の実験機材が供与された。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任SVは、無償供与機材のうち主に土壌や植物の化学分析に関係した実験機材の調整を行い、効果的な実習のための環境作りを行っているが、引き続きそれら機材を活用し効果的な実験・実習ができる人材が求められている。また、同大学では学生への教育水準向上を目的としたプログラムを進めており、教員の指導力の向上への支援も求められている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・無償供与された各種実験機材を用いて、効果的な実験・実習授業を行う。 ・各教員が調査・研究を行う際に助言を行う。 農学全般に関する知識、及び化学分析の技術があることが望ましい。土壌物理関係の知識があればなお良い。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 イオンクロマトグラフ、ケルダール分解装置、窒素蒸留器、分光光度計、定温培養装置、遠心分離機、顕微鏡、土壌密度計、テンシオメーター、コーンペネトロメーター、デンドロメーター、各種測定器など					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農学セクションには8名の教員がおり、修士、学士を取得している。指導対象は上記教員及び学生。学生は高卒程度だが、ステップアップを目的とした中等学校の教員もいる。		5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 () <input type="radio"/> ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (I ⁺ N: A) <input type="checkbox"/> (I ⁺ N:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
・性別 男性		性別理由: 安全対策上				
・学歴 修士 業務関連分野		学歴理由: 教員養成のための学術的説明が求められる				
・各種分析機材取扱経験		経験理由:				
・普通自動車免許		理由: 安全対策上				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 車輛 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車						
通勤・生活上必須(貸与は無く、自費で車両を購入)。						
概 地 況 域	気候(熱帯雨林) 気温(15-30℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄
グループ派遣

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 22 日

要請番号(SL 251 - 09 - C - 03)

調査者名: 綿引純男ボランティア調整員

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 農業生産技術 (コード 1903)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 有機農業			1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Agricultural technology			2	21 / 4	
指導科目(英) Organic Agriculture	3	/				

プログラム番号・名 プロジェクト名 零細農家自給率向上計画
地方貧困削減のための地域開発モデルプログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 協同組合庁 (受入機関名)(英語) The Panamenian Autonomous Cooperative Institute(IPACOOOP)
	2) 配属先名 (日本語) 協同組合庁ベラグアス県事務所 (英語) IPACOOOP - Veraguas Province Office
	3) 任地 ベラグアス県サンティアゴ市 首都(パナマ市)から 西 方向 280 Km 主要都市(ベラグアス県 サンティアゴ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 協同組合庁ベラグアス県事務所が推進する、「零細農家自給率向上計画:グランハ・ファミリアル」は、国内最貧困地域に属する組合に対し、個別指導を通じて自給自足農業を確立し、将来的には、自分の農場で収穫した農作物を協同組合を通じて販売しようとするものである。2008年度予算は、配属先全体でUS\$4,975,700、県事務所US\$175,060。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 【グループ派遣】対象地域のベラグアス県はパナマで最貧困県と言われており、前述のプロジェクト「グランハ・ファミリアル」は、平均約35%といわれる各家庭の自給自足率を向上させるために、従来のパナマ式農業を改善する、というものであり、JICAが協力を行っている。プロジェクトの目的のひとつとして、持続性のある有機農業を重視し、県事務所所属の農業技術指導員が、JICAボランティアとともに各組合員に対し技術指導を実施し、農民へのサポート体制を作っている。この目的達成のため、今回、ボランティアの後任要請があげられた。なお、現在活動中の前任ボランティアは、2009年12月に任期を終える予定。		
	2) 期待される具体的業務内容 グランハ・ファミリアルプロジェクトを推進するために、下記の活動を行う。 ① 配属先の同僚と共に、3~4組合を担当し、技術指導のため巡回する。 ② 配属先農業指導員や、直接農家を対象に、堆肥作り等有機農業のための講習会を実施する。 ③ 配属先の同僚と月々の計画を立て、プロジェクト実施のために協力する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 机、パソコン		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 県事務所スタッフ: 県事務所長 男性 40代 農業課部長 男性 50代 農業指導員 男性 30~50代 5名	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ スペイン語 (レベル: C)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		

資 格 条 件	性別理由:
	・学歴 大卒 学歴理由: 業務を遂行するために必要
	・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 農業指導員や農家への指導を実施するため
	理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	

概地況域	気候(熱帯) 気温(25~35) ℃位	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 12 月 26 日

要請番号(SL 303 - 09 - C - 08)		調査者名: 山本 パトリシア				
国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期		
アルゼンチン	職種 農業生産技術 (コード 1903)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 青果物収穫後の鮮度保持			1	21 / 4	年 月 から
	職種(英) Agricultural technology			2	/	
指導科目(英) Postharvest of fruits and vegetables	3	/				
プログラム番号・名 3030000000005		プロジェクト名				
地域経済活性化						
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院 - INTA (受入機関名)(英語) National Institute of Agricultural Technology					
	2) 配属先名 (日本語) バルカルセ試験場 (英語) Balcarce Agricultural Experimental Station					
	3) 任地 プエノスアイレス州バルカルセ市 首都(プエノスアイレス市)から 南西 方向 420 Km 主要都市(マルデルプラタ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 天然資源と環境を保全しながら地域の産業開発に関する農牧業の研究開発・人材育成活動と共に生産者への普及業務を実施している。バルカルセ試験場は地域の主な産業である牧畜、穀物栽培、ジャガイモ栽培、果樹・野菜栽培等に関する研究開発及び普及を行っている。(青果物品質管理実験室の2008年間予算はUS\$ 40,000)					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国における野菜・果樹栽培は各地域の立地条件により広く全国に分布している。野菜栽培は、殆どが小規模農家(家族)経営であり、関連産業も含めると雇用機会の創出に貢献している。(栽培面積約60万ha、35万人の関係者)。主な作物はジャガイモ、トマト、タマネギ、カボチャ等である。果樹についてはブドウ、リンゴ、柑橘等が主な種類である。亜国は伝統的に牧畜及び穀物栽培に係る研究開発が実施されてきたが、近年では野菜・果樹等非伝統的な作物の研究が実施しつつある。					
	2) 期待される具体的業務内容 安全な農産物を国内外市場に供給するための収穫後の鮮度保持に関する生理的な研究と品質管理(貯蔵、包装、輸送)については殆ど研究されていない状況であるため、本要請がなされた。 - 果樹ではキウイ、サクランボ、ブルーベリー、野菜ではトマト、ピーマンなど栽培、収穫、貯蔵、輸送、包装の情報収集 - 対象作物の生理的データ収集 - 鮮度・品質保持に必要な農産物の生理的な要因と共に貯蔵、包装、輸送方法を考慮した数値モデルの開発					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 青果物品質管理実験室の機器類					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 青果物の鮮度保持などを専門としている農学技師(大卒、博士農学技師)30~50歳の男女		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: C)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: ・学歴 修士 農学 学歴理由: 業務遂行に必要不可欠 ・経験 実務経験 10年以上 経験理由: 業務遂行に必要不可欠 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○ 有 ● 無 ○ 車輦 ○ 単車 ○ 自転車						
概況	気候(温帯) 気温(10~30 ℃位)	電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)	水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)			
地域	電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし)					

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

要請番号(SL 303 - 09 - C - 17)		調査者名: 山本 パトリシア			
国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期	
アルゼンチン	職種 農業生産技術 (コード 1903)	(長期のみ)	○ 2 年	1	21 / 4
	指導科目 植物病害の生物的防除	● 新規	○ 1 年	2	/
	職種(英) Agricultural technology	○ 交替	○ ヶ月	3	/
	指導科目(英) Biological Control of Plant Diseases	代目			年 月 から
プログラム番号・名 3030000000008		プロジェクト名 植物病害の生物的防除			
自然資源保護プログラム					
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院 - INTA (受入機関名)(英語) National Institute of Agricultural Technology				
	2) 配属先名 (日本語) 微生物農業動物学研究所 - MYZA (英語) Institute of Microbiology and Agriculture Zoology - INTA				
	3) 任地 フェノスアイレス州カステラル市 首都(フェノスアイレス市)から 北西 方向 30 Km 主要都市(フェノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、環境或いは人間に損害を与えずに農業生産性を改善し、農作物及び環境の汚染を極力減少するために、農業病虫害駆除・消毒等に関する微生物その他の生物の研究を実施し、技術を開発している。我が国は、2001年から3年の間、技術協力により「土壌伝染性植物病害の生物的防除」のプロジェクトを実施した。(2007年度予算は23500ドル/2796千円)				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アルゼンチンにおいては、土壌中の病原菌による農作物の苗の立ち枯れ病が全国的に大発生しており、深刻な問題となっている。この対策のために使用されている土壌消毒剤プロモホル(臭化ホル)は、人体の健康と環境に悪影響を及ぼす他、土壌中の微生物のバランスが崩れることにより持続的農業の妨げとなる可能性もある。このようなことから、当国国立農牧技術院(INTA)は、病害の代替防除策として微生物利用による防除を特に取上げて研究している。そのため、2001年から3年間の我が国の技術協力により「土壌伝染性植物病害の生物的防除」の協力が実施された。				
	2) 期待される具体的業務内容 - 菌類及び細菌類の分類に必要な化学的手法の技術指導 - 抽出した微生物の精製と特性に関する技術指導 - 微生物の評価試験の技術指導 - 微生物の同定技術				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 微生物学及び分子学実験に必要な資機材(クリーンベンチ、シェッカー、遠心機、冷凍庫、低温培養器、オートクレーブ等)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物学博士、女性1名、58歳 農学技師、男女2名、年齢は35-50歳		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スペイン語 ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I・M: A) ☑ スペイン語 (I・M: C)
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
			性別理由:		
	・学歴 博士 農学		学歴理由: CPの学歴が博士であるため		
	・経歴 指導経験 15年以上		経歴理由: CPの職歴が15年以上であるため		
・病害の生物防除経験		理由: 業務上必要			
・微生物分類技術経験		理由: 業務上必要			
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車					
概地域	気候(温帯性) 気温(10~35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)		
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 12 月 24 日

要請番号(SL 442 - 09 - C - 01)	調査者名: 島口 秀男 調整員
------------------------------	-----------------

国名	職種/指導科目 (コード 1903)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
シリア	職種 農業生産技術	● 新規 ○ 交替 代目	○ 2 年 ● 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3	年 月 から
	指導科目 ジャガイモ育種			2	21 / 4	
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Potato Breeding and Insect Pests			3	/	

プログラム番号・名 4420000000002	プロジェクト名 産業近代化のための人材育成
-------------------------	-----------------------

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業農地改革省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform
	2)配属先名 (日本語) 種子増殖公団 (英語) General Organization for Seed Multiplication (GOSM)
	3)任地 アレッポ 首都(ダマスкас)から 北 方向 350 Km 主要都市(ダマスкас)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当公団は主要農作物種子の輸入・増殖・配付を行っている。ジャガイモ種子イモを国内生産に切り替える計画を支援するために、日本は無償で施設整備(ジャガイモ用温室、組織培養施設とムギ調整施設、約9億円)援助を実施し、2004年3月に完成した。また専門家やシリアボランティアを派遣してきた。今後は輸入・増殖・配付に加え、ジャガイモ国産品種の育種をめざしている。年間予算は約60億円、職員数は約1,800人

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) GOSMでは、ジャガイモ種子イモを輸入から国内での増殖に切り替えるという国家計画が進行中である。この計画を支援するため、2004～8年までにSV6名(ジャガイモ種子生産、病害虫、渉外促進)が活動を終了し、計画は順調に進んでいる。増殖されているジャガイモ品種は主にヨーロッパ品種であるが、今後はシリアの気候風土にあった国産品種の育種をめざしているため、育種計画策定を支援するSVの要請があった。		
	2)期待される具体的業務内容 ジャガイモの育種計画策定への協力・支援をする。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実体顕微鏡、試薬(エタノール)、実験器具(シャーレ、ピンセット、標本チューブ等)、実験室、温室、網室、現地圃場		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業エンジニア以上の職員が対象。専門的な知識レベルは高いが、理論的な理解に片寄っている傾向があり、実務的な知識・経験に乏しい。英語の会話能力は高いが、英語の文章作成能力は高くない。	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 博士 農学	学歴理由: 管理職員にはDr.が多く、高い技術レベルが必要。
	・経験 実務経験 15年以上	経験理由: 育種に関するものが必要。
	理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(砂漠性気候) 気温(0-40℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)	



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 1 月 9 日

要請番号(SL 475 - 09 - C - 02)

調査者名: 河上 光代

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
チュニジア	職種 農業生産技術 (コード 1903) 指導科目 生物資源工学	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	2			21 / 4	
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Bio-Resource Engineering			3	/

プログラム番号・名 4750000000004 プロジェクト名 人材育成・教育支援
 産業競争力強化プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 高等教育・科学研究・技術省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education, Scientific Research and Technology

2) 配属先名 (日本語) ボルジュセドリア・テクノパーク バイオテクノロジーセンター(CBBC)
 (英語) Borj Cedria Science and Technology Park, Bio-technology Center

3) 任地 ボルジュセドリア
 首都(チュニス)から 南 方向 35 Km
 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(車)で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 ボルジュセドリア・テクノパークは、水資源研究、バイオテクノロジー研究、エネルギー研究の3分野(3センター+運営部門)で産学協同を目指す学術・産業都市である。これまでJICAの技術協力プロジェクト、円借款による施設、機材整備等が進められている。バイオテクノロジー研究センターは更に5つの研究室から成り、本邦大学との共同研究等も進めている。
<http://www.ecopark.rnr.tn>

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同国においては、特徴的な気候分布が独特の植生を生み出していること、植物が乾燥、強い日射、高塩濃度の土壌といった厳しい環境ストレスに耐えるためのメカニズムを有していることから、有用な生物資源の「宝の山」と目されている一方、前述CBBCにおいては実験手法が「古典的」段階に留まっているため、遺伝子・分子レベルでの詳細な解析等実験手法の技術移転に対して強い要望が寄せられている。今般、JICA技術協力プロジェクトの一環としても、CBBCの若手研究者を本邦大学に派遣して生物資源工学に必要な実験技術習得を進めているが、更なるSV派遣により、同実験手法の現地適用、波及について技術支援を受けたいとしている。

2) 期待される具体的業務内容
 アロマ・薬用植物関連の生物資源探査に係る以下の業務を行う。
 ・分子生物学の実験手法の指導
 ・分子生物学実験のための環境整備、設備機器設置への支援
 ・植物成分の、例えば抗アレルギー作用など、その薬効を動物の培養細胞を用いて検定する技術の指導、および帰国JICA研修生と共同での同実験の指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 アロマ・薬用植物関連の生物資源探査に必要な細胞培養機器一式(植物成分抽出装置、クライオスタット、クリーンベンチ、CO2インキュベーター、細胞用遠心分離機、顕微鏡、分光光度計、オイル抽出器、超遠心分離機)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 ・アロマ・薬用植物研究ユニット(UPAM)室長(男、50代)教授
 ・常勤研究者 7名
 ・非常勤研究者 7名
 ・大学院生 15名
 ・技術補佐員 1名

5) 業務使用言語
 ○ 英語 ()
 ● フランス語 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 ・学歴 修士 生物工学 学歴理由: カウンターパートのレベルが修士以上
 ・経験 実務経験 5年以上 経験理由:
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性
 有 無 車輜 単車 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況域 気候(地中海性気候) 気温(10~45℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄
受験番号

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 1 月 9 日

要請番号(SL 475 - 09 - C - 06)

調査者名: 河上 光代

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
チュニジア	職種 農業生産技術 (コード 1903)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 発酵工学			2	21 / 4
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Fermentation engineering			3	/
				年 月 日	から

プログラム番号・名 4750000000004
産業競争力強化プログラム

プロジェクト名 人材育成・教育支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育・科学研究・技術省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education, Scientific Research and Technology			
	2) 配属先名 (日本語) スファックス・バイオテクノロジーセンター (英語) Biotechnology Center of Sfax			
	3) 任地 スファックス市 首都(チュニス)から 南 方向 270 Km 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1983年に創立されたチュニジアを代表するバイオテクノロジー分野の教育・研究機関である。微生物由来の酵素・代謝産物、真核生物の分子遺伝学、生物農薬、バイオプロセス等の8つの研究室と研究成果活用、科学情報の2つのユニットからなり、単なる基礎研究にとどまらず実用化や産業界への貢献を重視した研究開発を進めている。本邦大との共同研究も進めている。http://www.cbs.rnrt.tn/			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) チュニジアにおいて、同配属先は発酵工学および微生物を用いた有用な酵素の産生に関する研究では高いレベルにあり、特に、近年これらの研究成果の実用化、実験室規模から産業化規模へのスケールアップに向けての技術開発にも積極的に取り組んでいる。これらの取組を推進するにあたり、研究者や技術者の人材育成を期待され今回の要請となった。			
	2) 期待される具体的業務内容 ①発酵工学分野での研究成果を実用化に向けて、実験室レベルから工業レベルへスケールアップさせるための技術開発に関する指導、助言 ②バイオリクターに関する技術開発への助言			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 バイオリクター(発酵装置)7・12・20・3001L、加圧蒸気滅菌器、O2/CO2分析器、遠心分離機、回転式蒸化器、濾過器、凍結乾燥機、噴霧器など			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ユニット長(男、技術者、50代) その他、技術者、研究員	5) 業務使用言語 ○ 英語 () ● フランス語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: ・学歴 修士 業務関連分野 学歴理由: カウンターパートのレベルが修士以上 ・経験 実務経験 10年以上 経験理由: 指導するのに十分な知識・経験を要するため 理由: 理由:			
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				
概地況域	気候(地中海性気候) 気温(10~45℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)	
電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)				

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 1 月 28 日

要請番号(SL 006 - 09 - C - 02)

調査者名: 池上 実

国名	職種 / 指導科目 (コード 1202)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 農業機械	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 農業機械			2	21 / 4
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Agricultural Machinery			3	/

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名
 東部インドネシア開発支援(南スラウェシ州地域開発)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 内務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Home Affairs
	2) 配属先名 (日本語) タカラール県農業事務所 (英語) Takalar Local Government, Division of Agriculture
	3) 任地 南スラウェシ州タカラール 首都(ジャカルタ)から 北東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) タカラール県農業局は、総務、食料・園芸、プランテーション、森林、畜産という5つの部署で構成されており、県内の農家に対して提供しているサービスの内容として①農林業に関する様々な研修の提供 ②農業生産に必要な経済インフラの整備 ③病害虫の予防、が主に挙げられる。同局の職員数は89名で、そのうち食料・園芸課には8名のスタッフが在籍している。予算は2007年度実績で6.8万米ドルが措置された。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 南スラウェシ州のとうもろこし年間生産量は、インドネシア国内でも五本の指に入る有数の生産地である。また、米については、とうもろこしほど他地域と比較して優位性はないものの、収穫量ではそれを凌ぎ、将来の発展可能性を秘めている。同州内でもそうした農産物の産地であるタカラール県においては、モデル地域として他県をリードしていく役割が期待されている。しかしながら、県下の農民は、中央政府や地方政府の支援を通じて購入した農業機械、具体的にはトラクターや送水ポンプのメンテナンス技術が欠けているため、効率的な農業が行えていないという課題がある。そのため、こうした領域での技術向上に資するSV派遣の要請が上げられた。		
	2) 期待される具体的業務内容 タカラール県農業局をベースに、県下の米・とうもろこし生産者グループを巡回訪問し、農業機械に関するメンテナンス講習会を行ったり、現場での具体的な保守管理方法を指導することで、農業生産を向上させていく。また、この成果を他の生産者グループに波及させていくことが求められている。なお、具体的な業務としては以下のようなものが考えられる。 1. 県下の米・とうもろこし生産者グループを訪問し、モデルグループを特定する。 2. 農業機械の保守管理のためのアクション・プランを策定し、実施する。 3. 得られた成果を他の生産者グループに波及させる。 5. 農業機械のメンテナンス標準化に関するマニュアルを作成する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務スペース、事務用品、電話、Fax等 トラクター(クボタ及びヤンマー社製が中心)、送水ポンプ(ホンダ及びヤンマー社製が中心)など		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 女性、タカラール県農業局長 50歳代 男性、食料・園芸課長 40歳代 女性、食料・園芸課職員 40歳代 米・とうもろこし生産者グループ500名以上		5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V・N: C) □ (V・N:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由			
	・学歴 大卒		性別理由:	
	・経験 実務経験 5年以上		学歴理由: インドネシア側からの要請であるため 経験理由: インドネシア側からの要請であるため	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
----------	---



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 1 月 28 日

要請番号(SL 006 - 09 - C - 03)

調査者名: 池上 実

国名	職種/指導科目 (コード 1302)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 養蜂	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 養蜂			2	21 / 4
	職種(英) Bee Keeping			3	/
	指導科目(英) Bee Keeping				年 月 から

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名
 東部インドネシア開発支援(南スラウェシ州地域開発)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 内務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Home Affairs
	2) 配属先名 (日本語) マロス県林業事務所 (英語) Maros Local Government, Division of Forestry
	3) 任地 南スラウェシ州マロス 首都(ジャカルタ)から 北東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マロス県林業局森林保護課では、国からの補助金による事業として①県内の森林に関するリハビリテーション、②農地に活性化、独自予算による県内の林業関係の産品の技術支援、特に養蜂については養蜂業者の組織化と活動モニタリング・評価、研修を通じた技術支援、流通・加工に関するインフラ整備を行っている。同課年間予算は3,200米ドル(2007年度実績)。県林業局の職員数は99名で、うち養蜂に携わる職員は11名。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 南スラウェシ州における養蜂は、産業規模としては大きくはないものの、初期投資への負担が少ないことから、地方の農民がサイドビジネスとして起こしやすく、過去三年間で急激に伸びてきた産業である。マロス県は、南スラウェシ州の中でも生産者グループが多く(六つ)、また養蜂のインキュベーターとして指定されている県である。しかし、現在の伝統的な養蜂の手法では一定の質をもつ蜂蜜の生産が困難であることが指摘されている。また、現場のニーズとしては、ロイヤルゼリー等の新製品開発、蜂の効果的な飼育手法の開発、天然蜂巢から人工蜂巢への移転手法など、養蜂に関する技術的な改善が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 マロス県林業局をベースに、県下の生産者グループを訪問し、養蜂に関する課題分析と、それを踏まえた改善のためのアクション・プランの策定、そして協力者とともにパイロット養蜂を行い、この成果を他の生産者グループに波及させていくことが求められている。具体的な業務としては以下のようなものが考えられる。 1. 生産品の質的改善のためのアクション・プランを策定する。 2. 協力者とともにパイロット養蜂を行う。 3. 2. の成果を他の生産者グループに波及させる。 4. 養蜂の標準化に関するマニュアルを作成する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務スペース、事務用品、電話、Fax等 但し、養蜂作業に要するマスク、ジャケット、手袋、ブーツなどの基礎装備は予備がないため、自ら用意する必要がある。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性、マロス県林業局長、50歳代 男性、同局森林保護課長、40歳代 同課職員10名 マロス県養蜂生産グループ	5) 業務使用言語 ◎ インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
		性別理由:
	・学歴 大卒	学歴理由: インドネシア側からの要請であるため
	・経験 実務経験 5年以上	経験理由: インドネシア側からの要請であるため
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--

平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 10 日

要請番号(SL 306 - 09 - C - 01)

調査者名: 横島賢太郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ボリビア	職種 家畜飼育 (コード 1402)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 養鶏			2	21 / 4
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英) Poultry			3	/
					年 月 日
プログラム番号・名 その他		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農村開発・環境省 (受入機関名)(英語) Ministry of Rural Development and Environment				
	2) 配属先名 (日本語) サンタクルス養鶏業者協会 (英語) Poultry Farmers Association in Santa Cruz				
	3) 任地 サンタクルス県サンタクルス市 首都(ラパス)から 南東 方向 800K Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンタクルス県における採卵鶏、肥育鶏、種鶏等、養鶏関連業者の団体であり、国の機関と協調して、サンタクルス県における養鶏産業の発展に寄与している。事業内容としては、養鶏に関する情報提供(統計、相場、講習会開催)、飼料原材料の斡旋、養鶏技術サービス(獣医診断、養鶏技術指導等)、ラボラトリー検査サービス(病理学的検査及び飼料分析)を実施している。2008年の予算は3.3万US\$/約3百万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同県は、コチャバンバ県と並び、ボリビアにおいて養鶏の盛んな地方である。近年、ボリビアにおける養鶏産業の発展は著しいものがあるが、養鶏技術、衛生対策、設備が必ずしも追いついていない状況にある。特に、衛生対策については、鶏舎の構造上の問題もあり、農場での十分な対策が行われていない状況が見受けられる。更に、今後、鶏糞問題を検討する必要もある。前任者は、養鶏の全般的な観点から、これらの基本情報の提供を行ない、改善を促した。具体的には、配属先機関紙や講習会等を通じての情報提供、農場訪問を通じての技術指導を実施した。本件は、今後、更に具体的な技術指導の必要であるとして同人の後任要請に至ったものである。				
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の同僚及び近隣の養鶏農家に対して、以下の技術指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ■衛生対策(鶏糞問題、ワクチンや予防注射のプログラミング、鶏インフルエンザ対策含む) ■採卵及び肥育養鶏技術 ■ラボラトリー検査業務 				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回指導用車両、机、椅子、ラボラトリー(実験器具含む)				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性5名、獣医師、農学士、技術士など。35-45歳程度。レベルは中級。 養鶏業者は性別、地位、年齢ともに多様。専門知識は不十分。		5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) □ スペイン語 (レベル: C)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
		性別理由:			
・学歴 短大卒 畜産学		学歴理由: 業務を円滑に進めるために必要			
・経験 実務経験 5年以上		経験理由: 農家への実地指導を行うため			
		理由:			
		理由:			
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概地 域	気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)				

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 12 月 10 日

要請番号(SL 306 - 09 - C - 04)		調査者名: 横島賢太郎			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ボリビア	職種 家畜飼育 (コード 1402)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目 畜産技術普及員		1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Animal Husbandry		2	21 / 4	
指導科目(英) Extention of Agricultural technology	3	/			
プログラム番号・名 小規模農家の貧困削減(生産性向上)		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育文化省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ベニ大学国立家畜改良センター・ベニ支所 (英語) University of Beni, National Livestock Improvement Center of Beni Braach				
	3) 任地 ベニ県トリニダ市 首都(ラパス市)から 北東 方向 900 Km 主要都市(トリニダ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国立ベニ自治大学に属する国立家畜改良センター・ベニ支所は、ベニ県の牧畜業(肉牛が中心)の生産性向上のために、品種改良、繁殖、衛生管理等様々な分野での研究を行い、その成果を県内の牧畜業者に普及する役目を担っている。同センターはサンクルスに本部を置き、当国の牧畜業において重要な役割を果たしている。本年3月まで飼料作物分野で長期SV1名の活動実績がある。2008年の予算は約156千ドル/16百万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同県では県内最大産業である牧畜業の更なる発展のためにベニ大学、ベニ県庁、ベニ県牧畜業組合において、国立家畜改良センター・ベニ支所の有効活用、特に中小規模の牧畜業者に対する技術普及活動の拡大が合意されている。これまで、同支所は研究分野を中心に活動してきたため、酪農家に対する普及活動については人材が不足している。そのため、畜産農家のニーズにマッチし、彼らにアピールできる活動とするため、ボランティアが要請された。専門技術分野の知識、経験よりも、普及活動の企画、調整、プレゼンテーション等、運営面について経験の豊富な人材からの指導・助言が得たいとして本件要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の中小酪農家に対する以下の普及活動関連業務に関し、配属先スタッフに指導・助言する。 ■ セミナー、発表会、見本市等のイベントの企画、調整 ■ 各種報告書、広報記事、展示品の作成 ■ 配属先職員への普及手法の指導				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回指導用車両、机、椅子				
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性3名 農業技師 40歳代 レベルは中級。 農家は性別、地位、年齢ともに多様。レベルは不十分。		5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン語 () <input type="radio"/> ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> スペイン語 (レベル: C)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	性別理由:				
	・学歴 短大卒 畜産学 学歴理由: 業務を円滑に進めるために必要				
	・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 農家への実地指導を行うため				
理由:					
理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輦 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車					
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 2 月 2 日

要請番号(SL 045 - 09 - C - 09)

調査者名: 多賀谷 健司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 家畜非感染症			2	21 / 4
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Veterinary non-infections disease			3	/
年 月 日		から			
プログラム番号・名 0450000000006 プロジェクト名 牧地と農牧業再生プログラム					
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 食料農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Food and Agriculture				
	2) 配属先名 (日本語) 獣医学研究所 (英語) Institute of Veterinary Medicine				
	3) 任地 ウランバートル 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 獣医研究所は、家畜感染症、非感染症、寄生虫病を研究し、その診断、予防、治療法を生み出し、家畜の健康のため、新治療薬の製造技術の改良、新技術の開発を行っている。1997年より5年間、家畜感染症診断技術向上を目指しJICA技術協力プロジェクトが行われ、その後2年間専門家が派遣されフォローアップもなされた。2006年から2年間、獣医師のボランティアが派遣され、地方への研修を行った。予算:40万米ドル。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) この3月に帰国したシニアボランティアは家畜感染症診断を向上させ、現地職員研修を通して地方への診断技術の定着に貢献した。今回は家畜非感染症分野のボランティアの要請である。この研究所には薬理学、毒性学ラボがあり、薬草からの家畜用薬品の発見、毒草植物による家畜の病気について研究を行っている。最近、国民の健康面から、特に毒草や天然殺虫剤が含まれる家畜の材料、製品による中毒が食品の安全検査で問題となっている。このため、薬理学、毒性学に経験のあるボランティアが要請された。				
	2) 期待される具体的業務内容 家畜薬理学及び毒性学の分野で研究所職員と以下の項目につき共同研究をし、アドバイスをを行う。 ・家畜毒素診断及びその予防 ・家畜風土病診断及びその予防 ・家畜によく発生する無機栄養不足分の検査、調査とその診断・予防				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Evaporator, Ultracentrifuge(12000rpm), Water distillatory, Autoclave, Incubator, Microscope等				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究所所長 男性-40代 同僚:4人(男性-3人 30-50代、女性-1人 40代)		5) 業務使用言語 ○ 英語 () ● モンゴル語 ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I・M: A) □ (I・M:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: ・経験 実務経験 3年以上 経験理由: 研究及び指導に必要 ・家畜毒素病診断 理由: 研究及び指導に必要 ・獣医師 理由: 研究及び指導に必要				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概地況域	気候(大陸性気候) 気温(+30~-30℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 23 日

要請番号(SL 048 - 09 - C - 04)

調査者名:柴崎 栄司

国名	職種 / 指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブータン	職種 獣医・衛生	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3	年 月 から
	指導科目 組織培養			2	21 / 4	
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Tissue Culture			3	/	

プログラム番号・名
ブータン その他プログラム

プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) 畜産局 国立動物衛生センター
(英語) National Centre for Animal Health, Department of Livestock

3) 任地 ティンブー県サルベタン
首都(ティンブー)から 南 方向 10 Km
主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
同配属先は、家畜の疾病対策の計画及び調整、疾病の検査、動物用ワクチンの製造、調達、配布、臨床サービス、疾病のサーベイランス等、動物に関する様々なサービスを提供している。研究室、疾病予防対策、疫学調査、臨床サービス、ワクチン製造の5つの部署に分かれている。EUやFAOから機材の供与を受けている。年間予算は約10万ドル。2009年1月まで、JOCV獣医師隊員が派遣されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
前任者は、ラボ内における作業の標準化として、試験の操作、機械・器具の維持管理の実施手順であるSOP(標準作業書)を作成した。また、ワクチン製造部においても、品質を安定させるため、チェックシートを導入し各工程での記録をつけ、責任者による確認のシステムを作った。また細胞培養の立ち上げをサポートした。次のステップとして、ウイルス性疾患の診断や細胞培養によるワクチン製造を計画している。配属先スタッフは、知識はあるが経験が不足しているため、今回の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容

- 細胞培養のサポートおよびウイルス性疾患の診断および細胞培養によるウイルス性ワクチン製造の助言・指導
- ラボラトリー内のバイオセーフティー・品質管理等のマネージメント
- PCR等の遺伝子学的診断技術のサポート
- センター全体の管理・運営のサポート
- 上記の業務手順が組織内に定着するよう支援を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
CO2インキュベーター、顕微鏡(倒立・蛍光)、バイオハザードベンチ、秤量器、吸光度計、オートクレーブ、乾熱滅菌機等の機器、フラスコ、ピペット、シリンダー、試験管等の器具、培地・試薬等等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 獣医師6人(疫学・寄生虫・病理・公衆衛生・薬理のマスター所有者。全て男性30~50歳代) カウンターパートは、獣医師の男性で38歳、実務経験12年。現在はワクチン製造に従事。日本での研修経験あり。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I ^h M: A) □ (I ^h M:)
---	-----------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:	
学歴 大卒 業務関連分野	学歴理由: 指導のために必要
経験 実務経験 10年以上	経験理由: ラボでの指導のために必須
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況域 気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5 ~ 30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 春 ・ 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 8 月 3 日

調査者名: 島口 秀男ボランティア調整員

要請番号(SL 442 - 09 - C - 04)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
シリア	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 残留分析			1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Residue Analysis			2	21 / 4	
		3	/			

プログラム番号・名 4420000000002 プロジェクト名
 産業近代化のための人材育成

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業農地改革省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform
	2) 配属先名 (日本語) 獣医薬品局 (英語) Veterinary Drug Directorate
	3) 任地 ダマスカス 首都(ダマスカス(JICA事務所から))から 南東 方向 25 Km 主要都市(ダマスカス)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同局は国内流通の動物薬品、ワクチンの品質管理及び製造、輸入許認可と獣医薬品に関する問題の総括、調査研究が業務である。品質管理部(ラボ)には、動物薬品品質管理課、ワクチン品質管理課、残留分析課があり、動物薬品品質管理が業務である。ラボには18名の獣医師と1名の薬剤師がいる。1995年、2000年に動物用医薬品品質改善とワクチン品質検査改善にJICAが専門家チーム派遣し、協力した。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 最近問題となっている畜産物への動物薬品、農薬、微量元素の残留分析を新たな業務とするため品質管理部(ラボ)に残留分析課が設置された。同課には、2名の獣医師と1名の薬剤師が配置されているが、薬品分析の基礎技術を有するものの、畜産物中の動物薬品、農薬、微量元素の残留分析の経験がない。このため残留分析に必要な実験室の設備、測定機器・器具について助言をし、また技術者と一緒に残留測定技術を、実際に機器の一連の操作を行いながら助言することができSVの要請が出された。現在、動物薬品・ワクチン品質管理のSVが派遣(2007.3-2009.3末まで)中である。(グループ派遣)		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 畜産物中の動物薬品、農薬、微量元素の残留分析に必要な実験室の設備、器械・器具、実験室の整備について技術的助言・支援をする。 2. 残留分析の一連の操作について技術的な助言・支援をする。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 HPLC、原子吸光計、紫外線光度計、ガスクロマトグラフィー、GC-MS、GCなど(SHIMAZUやJASCO製)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 残留分析課課長(獣医師で獣医学博士) 他に獣医師1名、薬剤師1名 (いずれも男性、40歳前後)、薬剤分析の基礎技術・知識はある。英語での業務に支障はない。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 修士 業務関連分野	学歴理由: 高度な薬学又は獣医学知識が必要のため	
	・経験 実務経験 5年以上	経験理由: 実務的な分析技術の助言をするため	
	理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(砂漠性気候) 気温(0-40℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄
 長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 8 日

要請番号(SL 227 - 09 - C - 03)

調査者名: 中野 敦彦

国名	職種/指導科目 (コード 1603)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサル バドル	職種 乳製品加工 指導科目 乳製品加工	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	職種(英) Dairy Products Processing 指導科目(英) Dairy Products Processing			2	21 / 4
				3	/

プログラム番号・名: 基礎教育を中心とした教育の質の向上
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock

2) 配属先名 (日本語) ロベルト・キニョネス国立農業学校
 (英語) Roberto Quinones National Agriculture School

3) 任地 ラ・リベルタ県コロロン市
 首都(サンサルバドル市)から 西 方向 33 Km
 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 1956年に創立した国内随一の全寮制農業学校で果樹園芸、農学、畜産養殖の3科より成る。レベルは3年制の農業高等専門学校に相当。同学校では農業技術者の養成及び、小中農業生産者への講習を実施している。生徒数は約100名であり、敷地内には147hの農場、教室、研究室が入る学科棟がある。2009年度予算は約126万USD。外国の技術援助は青年海外協力隊のほかに台湾政府が行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同校では、3年次に食肉、野菜・果実、乳製品の各食品加工のカリキュラムが組まれており、機材が揃えられた食品加工教室において実習指導が行われている。乳製品分野においては、製造・販売の収益性を高めるためにも付加価値のついた製品の製造技術・工程に係る指導が近年求められており、本農業学校でも国際標準に基づいた品質レベル、衛生管理レベルのもと競争力の高い製品の製造技術指導を視野に入れ、生徒への指導方法・内容の向上が図られている。かかる状況のもと、生徒への実習指導の改善・充実、指導陣のレベルアップ、指導・実習における指導法の適正化において、専門知識・経験をもったSVの派遣による協力が求められた。

2) 期待される具体的業務内容
 現在、主にヨーグルト、アイスクリーム、サワークリーム、チーズの生産指導が実施されている乳製品加工教室において、次の助言指導を行う。
 ・生徒に対し実施されている授業・実習指導に参加し、同校での乳製品生産指導の方法、プロセスの現状把握を行う。
 ・同指導方法、プロセスの改善、向上に係る助言、指導方法の適正化、品質レベル、衛生管理レベル向上に係る助言・指導を行う。
 ・新規製品、付加価値のついた製品の生産指導、製造技術にかかる教師陣への指導。同講習の実施。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 ボイラー、脱脂機、ハイドロニューマチックポンプ、チーズ用プレス機、牛乳冷却用凝縮機、均質機、冷却タンク、コンプレッサー、圧力鍋等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師:食品加工分野責任者1名、ほか指導助手。 学生(高卒18~22歳位)。	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N: C) □ (V/N:)
--	--------------------------------------	---

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 10年以上
 経験理由: 指導活動に十分な経験を必要。
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性
 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車
 研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地域 気候(サバナ) 気温(20-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄
 長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 30 日

要請番号(SL 239 - 09 - C - 06)

調査者名: 岡部朋洋

国名	職種 / 指導科目 (コード 1702)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ホンジュ ラス	職種 植林 指導科目 植林	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Afforestation 指導科目(英) Afforestation			2	21 / 4	
				3	/	
プログラム番号・名 中小・零細産業支援プログラム		プロジェクト名				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock					
	2) 配属先名 (日本語) 森林科学大学校 (英語) National School of Forest Sciences					
	3) 任地 コマヤグア県シグアテペケ市 首都(テグシガルパ市)から 北東 方向 150 Km 主要都市(テグシガルパ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 森林経営・植林・環境科学に関する国内唯一の専門大学校。1969年に森林の保全と持続的利用を目的に設立された。松を主要木とする演習林を複数持つほか、熱帯植物園としては世界第2位の広さを持つランセティージャ植物園は同校の付属植物園である。原種圃場は英オックスフォード大の技術支援で設立された。年間予算USD百万米ドル。農牧省から一部予算配賦があるが、残りは種子・苗木販売等の事業収入で賄っている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 有用品種の選定と増殖については、同校はこれまで、同校演習林にて個体選抜を行ない、選抜種子を増殖したり、接木によるクローン増殖等を行ってきたりしているが、今後、遺伝(育種)学の観点からも研究を始めたい意向がある。まずは、同分野での研究の可能性につき検討するために、同分野の知識・経験のあるSVIに対して要請があった。					
	2) 期待される具体的業務内容 1) 遺伝学研究の導入に関する検討(アドバイス、議論参加) 2) 一般的な植林分野(種子・育苗・植栽保育・病虫害)に関して、教授や生徒の研究活動に対しアドバイス					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 植林に関する機材一式(化学実験機材含む)、種子保存庫等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 学長 男性 50歳代		5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 () <input type="radio"/> スペイン語 ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> スペイン語 (レベル: C)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
				性別理由:		
	・学歴 大卒 林学			学歴理由:		
	・経験 実務経験 5年以上			経験理由:		
	・遺伝(育種)学の基礎知識			理由:		
理由:						
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輜 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車						
概 地 況 域	気候(温帯) 気温(15~30℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 26 日

要請番号(SL 303 - 09 - C - 07)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種/指導科目 (コード 1703)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 林産加工 指導科目 小家具の設計	● 新規	○ 2 年	1	21 / 4
	職種(英) Wood Processing 指導科目(英) Design of petit furniture	○ 交替	● 1 年	2	/
		代目	○ ヶ月	3	/
				年 月 日	から

プログラム番号・名 3030000000001 プロジェクト名
 中小企業プログラム

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) アンデス・パタゴニア森林研究・普及センター (受入機関名)(英語) Patagonian Andes Forest Research and Extension Center (CIEFAP)
	2) 配属先名 (日本語) アンデス・パタゴニア森林研究・普及センター (英語) Patagonian Andes Forest Research and Extension Center (CIEFAP)
	3) 任地 チュブット州エスケル市 首都(ブエノスアイレス市)から 南西 方向 1900 Km 主要都市(エスケル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.25 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アンデス・パタゴニア地域における天然林と人工林の森林資源の持続的利用により地域の社会経済開発に携わっている公共機関。1988年に設立され、研究者、補助員等含め49名が勤務しており、2008年度の予算額は590千ドル。約12年にわたりドイツ(GTZ)の技術協力を受け、我が国が2007年9月から2年間実施中の「CDM植林推進のための技術強化プロジェクト」のカウンターパート機関の一つである。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アンデス・パタゴニア地域には天然林の面積は410万haであり、そのうち南極ブナは約100万haに分布している。チュブット州には生産可能な森林面積は約12万haであり、地域の経済に大きな役割を果す小規模産業の木材材料として利用されている。現在、松が約22千ha植え付けられている。南極ブナは約15千m3を年間に生産しており、木質は良好であるが傷があるため、縦に切る際に普通より短く製材される。地域の製材所では伝統的に戸、窓などを製造しており、短く製材された南極ブナの利用方法について知識が殆どないため、小さい家具のデザインなどの技術の確立を目的として本要請があげられた。		
	2) 期待される具体的業務内容 - パソコンを使用したデジタル方式による小さい家具(主に子供用の家具)の試作品のデザイン。 - 木材を用いて10個程度試作品の製造。 - 小規模の製材企業を対象にしてセミナー・ワークショップなどの開催。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 製材所の器具類(帯鋸、かんな、研磨機、旋盤等)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ 男性2名(林学技師、大工)30歳代 指導対象者:スタッフ及び小規模製材所及び家具設計者	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スペイン語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
			性別理由:
	・学歴 大卒 林学	学歴理由:	
	・経験 実務経験 10年以上	経験理由: 業務遂行に必要不可欠	
	・小規模家具デザイン経験	理由: 業務遂行に必要不可欠	
・大工の一般知識	理由: 業務遂行に必要不可欠		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			

概地況域	気候(寒冷) 気温(5~25℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------	---



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄 グループ派遣	受験番号
------------------	------

記入日:平成 21 年 2 月 1 日

要請番号 (SL 251 - 09 - C - 07)		調査者名: 綿引純男調整員				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 水産資源管理 (コード 1801)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 水産海洋学			1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Fishery Resource Management			2	21 / 4	
指導科目(英) Fishery Oceanography	3	/				
プログラム番号・名 経済社会の持続的成長のための人材育成プログラム		プロジェクト名 海事大学人材育成プロジェクト				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) パナマ国際海事大学 (受入機関名)(英語) International Maritime University of Panama					
	2) 配属先名 (日本語) パナマ国際海事大学 (英語) International Maritime University of Panama					
	3) 任地 パナマ市 首都(パナマ市)から 南西 方向 0 Km 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、旧パナマ航海学校を母体に2005年12月に新設された国立大学である。2007年から航海学部、海洋学部、海運学部、水産研究所の一般教養課程が開設され、2008年から専門課程が開校された。外国民間海運会社からの援助も多く、約1年半前に中国海運会社COSCOから機関訓練用シミュレーション設備の供与があった。2008年度予算はUS\$660万ドルで、2006年度の約11倍となった。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 【SVグループ派遣】 パナマ国際海事大学の前身である旧パナマ航海学校には、93年～00年にかけてJICAの技術協力プロジェクト「航海学校強化」が実施され、技術面・機材面での協力が実施された。その後は、JICAボランティア(航海科、機関科)による技術支援が続けられ、2009年2月現在、2名のシニア海外ボランティア(海運行政・渉外促進)が活動中。本要請は、海洋学部の強化のため、そこに所属する教官と学生に対する総合的な教育支援を行うものである。特に、海洋生物学と海洋環境学に対する支援が求められている。					
	2) 期待される具体的業務内容 パナマ国際海事大学は2006年1月に運営が開始されたものの、前身のパナマ航海学校で実施されていた航海科と機関科以外は新設され、専門課程は2008年より開設された。 その中で、本要請では、以下が求められている。 ① 2008年に開設された海洋学部の専門課程における、教官・学生に対する支援 ② 海事大学学生、及び海洋関係者に対する講義あるいはセミナーの実施 ③ 海洋生物学及び海洋環境学に対する助言					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ボランティア事務室(パソコン、OA機器等)					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スーパーバイザー: 修士課程・研究担当副学長、40歳代 カウンターパート: 海洋生物学教授、男性1名、20歳代他、数名の同学部教授と業務を進める。		5) 業務使用言語 ○ 英語 () ● スペイン語 ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N: B) ☑ スペイン語 (V/N: C)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 一定の知識と技術が求められるため 経歴理由: 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				P		
概地 況域	気候(熱帯) 気温(25~35)		℃位	電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)					

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

記入日:平成 20 年 6 月 19 日

要請番号(SL 303 - 09 - C - 11)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼン チン	職種 水産資源管理 (コード 1801) 指導科目 水域資源環境評価	● 新規 ○ 交替 代目	○ 2 年 ● 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 4
	職種(英) Fishery Resource Management 指導科目(英) Evaluation of Aquatic Environment			2	/
				3	/

プログラム番号・名 3030000000008 プロジェクト名 自然資源保護プログラム

1) 受入省庁名(日本語) ネウケン州環境庁
 (受入機関名)(英語) Undersecretary of Environment of Province of Neuquen

2) 配属先名 (日本語) 水生生物センター
 (英語) Aquatic Biology Center

3) 任地 サン・マルティン・デ・ロス・アンデス市
 首都(ブエノスアイレス)から 南西 方向 1500 Km
 主要都市(ネウケン市(州都))までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先は当国南部パタゴニア地域のラン国立公園内にある。サマス類産卵期の密漁・ラカ湖の水質汚染によるサマス類資源の減少を危惧し、2000年に近隣市のサン・マルティン・デ・ロス・アンデス市に水車式の捕獲装置を設置、水車式サマス類捕獲センターとして、ラカ湖の資源回復及び環境教育を実施している。同地域のサマス養殖では、1988~1996年に亘ってJICA技術協力を実施した。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 人口約3万人のサン・マルティン・デ・ロス・アンデス市はアンデス山脈の麓に位置し、主要産業は冬季にはスキー、夏季にはスポーツフィッシングといった観光業である。その観光の目玉であるラカ湖(5,200ha)は密漁並びに富栄養化・汚水の流入により水質が悪化し、資源が減少してきたことから、人工孵化を行うための親魚(サマス)の捕獲装置を設置した。年間約1400尾の親魚から人工採卵し、孵化後、50万尾の稚魚を放流している。ラカ湖の魚類相の資源評価をもとに資源管理計画を立てることが急務となっているが、資源調査を実施するための適切な技術が確立されていないことから、本要請があげられた。

2) 期待される具体的業務内容
 ①湖沼の水質調査・評価
 ②魚類の生物特性調査
 ③天然餌料の調査
 ④水底生物(ベントス)活用評価(構成及びバイオマス等)

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 ゴムボート、天秤、酸素計、DOメーター、等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ 男女3名、30~50歳代、大学卒(養殖学、生物学、農学士)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	-----------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:	
学歴 大卒 環境科学	学歴理由:
経歴 実務経歴 10年以上	経歴理由:
生物学者、陸水学者	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

有 無 車輦 単車 自転車

概地 気候(寒冷) 気温(0℃~25℃) 電位(安定 不安定 なし)
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 20 日

要請番号(SL 006 - 09 - C - 01)

調査者名:池上 実

国名	職種/指導科目 (コード 1802)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 漁業生産	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 水産教育			2	21 / 4
	職種(英) Fishery Production 指導科目(英) Marine and Fisheries Management Training			3	/

プログラム番号・名 00699999999999999999 プロジェクト名
インドネシア その他プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 海洋水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Marine Affairs and Fisheries,.
	2) 配属先名 (日本語) 海洋水産人材開発庁 海洋水産研修センター (英語) Marine and Fisheries Human Resources Development Agency, Marine and Fisheries Training Center
	3) 任地 ジャカルタ特別州 首都(ジャカルタ)から 東 方向 0 Km 主要都市(ジャカルタ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当センターは1972年に設立された職員数480名(教官112名、事務職員368名)の組織であり、全国の6支所で水産業従事者、NGO及び地方自治体職員に対する技術研修を実施している。2007年度は、漁村民3531名、自治体職員1674名に対する研修及び教官に対するセミナーを8回実施した。センターには日本留学経験者、JICA研修員OBが複数いる。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアは広大な漁業水域を有していることから、漁業開発の余地が大きいので、より効果的な人材育成を目的とした研修内容の見直しが求められている。技術水準の高い日本の水産研修システムを導入することにより、人材育成水準向上を目的として、今回のSV要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 水産業全般に関する、 ①現行の研修課程(カリキュラム、テキスト、シラバス、水準、時間数、教材等)の評価・分析 ②研修運営システムの評価・分析 ③施設・設備の評価・分析 ④改善策提案		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、コピー機、プロジェクター等		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 研修スタッフ(25歳~50歳) 水産業従事者、水産物加工者、漁村民	5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・性別 男性	性別理由: 指導対象が男性であるため。
	・学歴 大卒	学歴理由: 全学歴者を対象に指導を行うために必須
	・経験 実務経験 5年以上	経験理由: 実践的知識と技術が必要
	・教育または研修機関での実務経験	理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地 域	気候(熱帯雨林) 気温(25~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
---------	--



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日育 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 12 月 22 日

要請番号(SL 251 - 09 - C - 05)	調査者名: 綿引純男ボランティア調整員
------------------------------	---------------------

国名	職種/指導科目 (コード 1802)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パナマ	職種 漁業生産	○ 新規 ◎ 交替 3 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 漁業生産			2	21 / 4
	職種(英) Fishery Production			3	/
				年 月 日	から

プログラム番号・名 2510000000002	プロジェクト名 経済復興及び基盤整備プログラム
-------------------------	-------------------------

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 水産資源庁 (受入機関名)(英語) Panamanian Acuatic Resorse Authority (ARAP)
	2) 配属先名 (日本語) 水産資源庁エレラ県地方事務所 (英語) ARAP - Herrera Regional Office
	3) 任地 エレラ県チトレ市 首都(パナマシティ内)から 南西 方向 250 Km 主要都市(エレラ県チトレ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2006年11月の省庁改編で、前・海運庁沿岸資源局が、農牧省(MIDA)養殖部門と合併し、水産資源庁となった。水産資源(淡水養殖を含む)及び沿岸水域の保護管理を目的として、水産業の健全な発展を司る。2008年11月に、米州開発銀行(BID)から、ARAPに対して、5百万ドルが融資された。その内、エレラ県事務所には500万ドルが配布され、現在、事務所移転等基盤整備が進められている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2004年の水産無償「小規模漁業開発計画」により、当国南西部のアスエロ半島東岸のボカ・デ・パリタ地区(チトレ市郊外)及びベダシ市に漁港水揚場が建設され、併せて2隻の漁業実習船と漁具類が供与された。これに伴い、2004年4月より、JICAのシニア海外ボランティア3名(漁船操業・保守、漁具漁法、グループ・コーディネータ)が派遣され、地域に適した漁法や、海図やGPSを利用した安全な操業方法を指導した。今般、2007年末に組織されたボカ・デ・パリタ地区の漁業組合と、ベダシ市の漁業組合に対して、組織強化および漁業生産向上を目的として、要請が上げられた。なお、前任SVは2007年11月に任期を終えた。		
	2) 期待される具体的業務内容 ① 水産資源庁エレラ県事務所職員への活動支援に係る助言・指導 ② ボカ・デ・パリタ地区およびベダシ市の漁協に対する助言・指導 ③ 中小漁民に対する、漁法改善やGPS・海図を用いた安全操業等の指導		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回用配属先公用トラック、執務机、他		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル エレラ県事務所長、女性、50歳代 事務所職員 男性4名、40歳～56歳 中小漁民は小学校卒、10～40歳代、男性・女性	5) 業務使用言語 ◎ スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V・M: C) □ スペイン語 (V・M: C)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 大卒 業務関連分野	学歴理由: 一定の技術力が必要なため	
	・経験 実務経験 5年以上	経験理由: 漁民に対する実践的指導を行うため	
	理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概地況域	気候(熱帯) 気温(25~35) ℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)

平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 19 年 12 月 28 日

調査者名: 藤木明代V調整員

要請番号(SL 106 - 09 - C - 17)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィジー	職種 養殖 (コード 1803)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 養殖			2	21 / 4
	職種(英) Fish Culture			3	/
	指導科目(英) Fish Culture				年 月 日から

プログラム番号・名 1060000000003 プロジェクト名 水産資源利活用プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 教育、文化、青年、スポーツ省
 (受入機関名)(英語) Min.of Education,National heritage,Culture and Arts,Youth and Sports

2) 配属先名 (日本語) 南太平洋大学、島嶼海洋学部 海洋学科
 (英語) School of Marine Studies Faculty Of Islands and Ocean,USP

3) 任地 スバ
 首都(スバ)から 南西 方向 7 Km
 主要都市(スバ中心地)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 南太平洋域内の12か国により1969年に設立された総合大学。海洋学科では水産加工、養殖、資源管理、海洋生物など水産、海洋全般に関する教育、研究を実施。施設は水産無償資金協力により建設、沿岸資源管理JICA専門家、水産加工SV、養殖SVが派遣された。ニュージーランド人養殖講師が1名いる。予算は講師給与と施設維持費に当てられ、研究開発費はテナガエビ種苗生産を民間から受託し(約350万円)充当している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 南太平洋諸国は養殖の振興を切望しているが、小国が多く研究開発は遅れている。海洋学科は、域内の水産分野の人材育成のみならず、研究開発の中心的機関として位置づけられており、留学生も多い。しかし、同科では、魚類、エビ類の種苗生産技術を十分に指導できる人材が不足しているため、本要請に至った。なお、現在活動中のSVによって、MicroAlgaeと地元産のワムシの大量生産技術が確立されたため、海産生物の種苗技術移転が期待できる。

2) 期待される具体的業務内容
 ・有用海産生物(観賞魚、甲殻類等)の種苗生産に関する研究、研修及び生産の支援を行う。
 ・講師及び技術者に対し、海産魚類、甲殻類の種苗生産技術を指導する。
 ・海水養殖実験施設の維持管理計画の立案支援及び管理能力の強化支援を行う。
 ・学生及び研究生に対し、海産魚類・甲殻類の飼育及び種苗生産に関する講義、実習指導を行う。
 ・海洋学科が検討している屋外養殖施設計画の立案に関するアドバイス、協力を行う。
 ・村落における生計向上のための養殖技術の開発と普及を行う。
 日本の生産現場での経験を踏まえ、環境に配慮した技術が求められている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 水中ポンプ5.5kw2機、圧力式砂ろ過器1000L、紫外線滅菌装置0.44kW、ブロー2機、FRP飼育水槽15個、海水貯水タンク4個、海水循環式用タンク6個、藻類培養室2.4m×2

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル シニア講師1名(ニュージーランド人、男性、博士、40歳代) 技術者2名(男性、大卒、20歳代)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
---	--------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 10年以上 経験理由: 実践的な技術が求められている。
 ・(エビ、カニ、ナマコ、真珠貝、ワムシ等) 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

概地況域 気候(熱帯海洋性気候) 気温(15-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 21 年 1 月 9 日

要請番号(SL 130 - 09 - C - 05)

調査者名: 中村 範之

国名	職種 / 指導科目 (コード 1803)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 養殖	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 3
	指導科目 漁業生産			2	/
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Fishery Production			3	/
				年	月
				から	

プログラム番号・名 1300000000007 プロジェクト名
 職業訓練・生計向上

1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧林業水産省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Food, Forests and Fisheries

2) 配属先名 (日本語) 水産課 ノバウ支局
 (英語) Fisheries Division, Vava'u Station

3) 任地 ババウ島ネイアフ
 首都(ヌクアロファ)から 北 方向 290 Km
 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機)で約 1.0 時間

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 受入省庁は、農業分野全般の振興・開発を一元的に所管する。配属先は離島ババウ島の主要産業の一つである水産資源の開発と管理を行う。魚市場の管理、真珠養殖及び研究開発、漁業権の許認可、漁業協同組合の管理、船舶管理施設の維持運営等を行う。配属先支局の職員数は4名、水産課(配属部署)全体の年間予算は約5千万円。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 トンガの水産業は、水産物の多様化と輸出の拡大による民間部門の育成が課題となっており、現在、欧州連合の援助により、水産関連施設の整備・改善が図られている。新たな水産資源として真珠貝(マベ貝)の養殖に取り組んでおり、現在シニア海外ボランティアがマベ貝の養殖及び海藻等の他の水産資源の活用に関する支援を行っている。今後、トンガ国内の各地に設定される漁業資源管理区域(Special Management Area)内での養殖活動の対する支援、及び個々の漁民に対する技術およびビジネス面での助言等に関する協力が必要とされ、本要請となった。

2) 期待される具体的業務内容

- マベ真珠貝養殖事業改善・開発および普及支援
- 未利用資源活用地域漁業振興支援
- 無職青年層対象漁業知識普及支援
- 海外市場(特に対日市場)情報収集・分析および関連機関宛情報配信

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 コンピューター(Windows)、FAX機、

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 ・支局長(女性、50歳代)

5) 業務使用言語
 ● 英語
 ()
 ○ その他
 (トンガ語)

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

資格条件	性別理由:	
	・学歴 大卒 業務関連分野	学歴理由: 当該分野の幅広い知識が必要
	・経験 実務経験 15年以上	経験理由: 実践的技術が必要
	・マベ真珠養殖経験	理由: 実践的技術が必要
	・漁労技術・訓練知識	理由: 当該技術・知識が活動上求められるため。

活動用交通手段の必要性
 有 無 車輜 単車 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(17-30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄
 長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 10 日

要請番号(SL 130 - 09 - C - 14)

調査者名: 中村範之、松井信晃

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 養殖 (コード 1803) 指導科目 沿岸資源増養殖	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1 21 / 3 2 21 / 4 3 /	年 月 から
プログラム番号・名 経済開発プログラム		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食料水産森林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Food, Fisheries and Forestry				
	2) 配属先名 (日本語) 水産局本部 (英語) Headquarters, Departments of Fisheries				
	3) 任地 スクアロファ 首都(スクアロファ)から 北 方向 0 Km 主要都市(スクアロファ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は水産資源管理、鮮魚市場運営、漁民支援等を主な業務とする。91~98年JICA技術協力プロジェクト「水産増養殖開発計画」で、主に貝類(シャコ貝、タカセ貝、ヤコウ貝)養殖技術の定着とコミュニティへの供与や放流事業が行われた。その後、オーストラリアの支援で水産局本部棟が改築され、法整備やコミュニティによる資源管理支援が実施された。受入省庁の年間予算は約6億円で、そのうち水産局分は約6千万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 過去20年間に漁法の進化や市場経済の発展により、シャコ貝、ボラ、エビなどの主要沿岸資源の枯渇が問題となっており、乱獲を防ぐためのナマコ漁獲禁止措置は現在も継続中。スナッパーなどの近海物の漁獲も持続可能水準をかるうじて維持している状況である。そのため、近年、沿岸資源増養殖が注目され、餌料用プランクトン養殖施設建設予算も08/09年で手当てされた。豪州の支援で端緒についたコミュニティ資源管理普及を促進しつつ、真珠貝、ナマコ、ウニ、アカガイなど現地の食糧安全保障と持続的な水産開発を実現するため、資源養殖の知見を有するボランティアの要請が出された。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 真珠貝、ナマコ、ウニ、アカガイなどの種苗生産技術の確立支援 2. 商業的価値の高い魚の中間養殖技術開発支援 3. 放流した沿岸資源のモニタリング				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 貝類養殖施設、ポート、小型GPS装置				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大卒数名、その他は専門学校卒レベル。20-50代。多くは過去、日本人専門家等との業務経験あり。また、日本での研修参加者も少なくない。		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I ^A *N: C) □ (I ^A *N:)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	性別理由:				
	学歴理由:				
	・経験 実務経験 10年以上 経験理由: 実践的技術を必要とするため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(15~30℃位)		電気(□安定 ☑不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 2 月 4 日

要請番号(SL 324 - 09 - C - 08)	調査者名: 長谷川 辰雄
------------------------------	--------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1803)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パラグ アイ	職種 養殖 指導科目 淡水魚養殖	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Fish Culture			2	21 / 4	
		3	/			

プログラム番号・名 パラグアイ その他プログラム(産業振興)	プロジェクト名
-----------------------------------	---------

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) アスンシオン大学 (受入機関名)(英語) Asunsion University
	2) 配属先名 (日本語) 獣医学部水産学科 (英語) The department of veterinary
	3) 任地 セントラル県サン・ロレンソ市 首都(アスンシオン市)から 東 方向 15 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 獣医学部水産学科は、パラグアイ国における水産業の発展のため、水産養殖技術の開発、普及、指導を行ってきている。獣医学部が創設され50年が経過しているものの、水産学科は設立後、わずか10年しか経っておらず、専門教官の能力向上が急務となっている。2005年からJICAとKOICAから同時期にボランティアが派遣され、共同で活動を行って来ているが現在は技術援助はない。獣医学部年間予算は、約2,500千ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 水産学科は、近年急速に発展をしている淡水魚養殖に対して学術的見地から助言・指導を求められる立場である。2005年4月から1年間に亘り、初代SVが派遣され、同学科の病理学研究室において、淡水魚の病気予防を中心に種苗生産や養殖技術に関する指導を行っており、病理学には大きな成果を残すことが出来た。他方、益々増大する養殖業界からのニーズに応じて、同学科水産生産課は、種苗生産から飼料開発、養殖管理について指導を行っているが、より専門的な技術指導が必要として、新たなSV派遣が要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. カウンターパートに対して、水産教育体制確立を目的として下記項目についてシラバス、講義・実験・実習展開法に重点をおいた指導を行う。 (1) 種苗生産。 (2) 魚病及び防疫。 (3) 飼料開発。 (4) 養殖業開発戦略策定。 2. 巡回技術指導・技術相談会を通じた、生産者への助言指導を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験室(事務機、椅子、書架他)、飼料ミキサー、配合機、水質分析機器、双眼顕微鏡、遠心分離機、電子秤他		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 水産学科主任教授:男性、米国博士課程修了、50歳前半 カウンターパート(種苗担当):男性、水産学科卒、20歳後半 カウンターパート(飼料担当):男性、水産学科卒、30歳前半	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン語 () <input type="radio"/> ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (I ^h M: C) <input type="checkbox"/> (I ^h M:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 大卒 学歴理由: 教育機関での活動であり専門知識が必要		
	・淡水魚養殖実務経験 理由: 実践的技術が必要となる。 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輦 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---

平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 19 日

要請番号(SL 333 - 09 - C - 03)

調査者名:長谷川弘美

国名	職種/指導科目 (コード 1803)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウルグアイ	職種 養殖 指導科目 海水魚養殖	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 3
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Fish Culture			2	21 / 4
				3	/
年 月 日 から					

プログラム番号・名 3330000000004 プロジェクト名 経済活性化
地域経済活性化プログラム

1)受入省庁名(日本語) 農牧水産省
(受入機関名)(英語) Ministry of Pasturage Agricultura and Fishery

2)配属先名 (日本語) 国立水産資源局
(英語) Fishery Resource Nacional Direction

3)任地 モンテビデオ
首都(モンテビデオ)から 北 方向 3 Km
主要都市(モンテビデオ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)。
農牧水産省の下部組織。国の水産分野の技術指導・促進・管理・アドバイスをを行っている。約150名の職員のうち、漁業関連の獣医・生物学・海洋学・化学・水産経済など60名の専門家、及び、20名の技術者で構成される。組織は管理部・作業部・技術部からなる。年間予算は約US \$3,700,000。

1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
2008年3月、配属先の国立水産資源局と国連食糧農業機関(FAO)の技術協力プロジェクトに基づき、養殖技術開発のプランが発表された。国立水産資源局は漁業分野における生産量の増加と持続的な開発のため、水産資源の量的・質的な発展をめざしている。大西洋沿岸の水産資源の保全・開発のため、科学的な知見の習得や水生生物の病気に関する分析、評価ができる人材および水産経済に関する人材を養成していく計画である。同国では養殖に関する基礎的な知識や経験を持つ人材はいるが、活動としては、まだ初期段階である。そのため、ボランティアによる協力が必要となった。

2)期待される具体的業務内容

- ロチャ県カボ・ポロニオの国立水産資源局センターで、海水魚養殖のための基本計画作成と実践のための技術支援を行う。魚類の孵化場・養殖場、養殖技術、生産管理、栄養摂取、異なった環境での臨床実験などへの助言を行う。
- 研究報告書を作成する。
- 少なくとも2種類以上の海水魚養殖技術の開発および国立水産資源局の技術者の養成。
- 養殖に関する経済および市場の分析ができるための資料が作成されるよう支援する。

3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
事務所 実験研究室 コンピューター(インターネット接続可) プリンター

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 養殖部コーディネーター 女性、獣医 50代男性、研究員 40代女性(海洋生物学)、研究員 40代男性(生物学)、養殖コンサルタント 40代女性(海洋生物学)、大学生 20代女性(生物学)	5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: B)
--	-------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由:
・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 養殖研究分野への指導助言を行うため。
・海水魚養殖専門家 理由: 配属先は研究機関であるため。
理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

概地 気候(温暖) 気温(3~34℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21 年度春 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 24 日

要請番号(SL 333 - 09 - C - 04) 調査者名:長谷川弘美

国名	職種 / 指導科目 (コード 1803)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ウルグアイ	職種 養殖 指導科目 淡水魚養殖	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Fish Culture			2	21 / 4	
				3	/	

プログラム番号・名 3330000000004 プロジェクト名 経済活性化
 地域経済活性化プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農水産省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Pasturage Agricultura and Fishery

2) 配属先名 (日本語) 国立水産資源局
 (英語) Fishery Resource Nacional Direction

3) 任地 モンテビデオ
 首都(モンテビデオ)から 北 方向 3 Km
 主要都市(モンテビデオ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 農水産省の下部組織。国の水産分野の技術指導・促進・管理・アドバイスを行っている。約150名の職員のうち、漁業関連の獣医・生物学・海洋学・化学・水産経済など60名の専門家、及び、20名の技術者で構成される。組織は管理部・作業部・技術部からなる。年間予算は約US \$3,700,000。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 2008年3月、配属先の国立水産資源局と国連食糧農業機関(FAO)の技術協力プロジェクトに基づき、養殖技術開発計画が発表された。国立水産資源局は漁業分野における生産量の増加と持続的な開発のため、水産資源の量的・質的な発展をめざしている。大西洋沿岸の水産資源の保全・開発のため、科学的な知見の習得や水生生物の病気に関する分析、評価ができる人材および水産経済に関する人材を養成をしていく計画である。同国では養殖に関する基礎的な知識や経験を持つ人材はいるが、活動としては、まだ初期段階である。そのため、ボランティアによる協力が必要となった。

2) 期待される具体的業務内容
 1. ロチャ県カボ・ポロニオの国立水産資源局センターで、海水魚養殖のための基本計画作成と実践のための技術支援を行う。魚類の孵化場・養殖場、養殖技術、生産管理、栄養摂取、異なった環境での臨床実験などへの助言を行う。
 2. 研究報告書を作成する。
 3. 少なくとも2種類以上の海水魚養殖技術の開発および国立水産資源局の技術者の養成。
 4. 養殖に関する経済および市場の分析ができるための資料が作成されるよう支援する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 事務所 実験研究室 コンピューター(インターネット接続可) プリンター

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 養殖部コーディネーター 女性、獣医 50代男性、研究員 40代女性(海洋生物学)、研究員 40代男性(生物学)、養殖コンサルタント 40代女性(海洋生物学)、大学生 20代女性(生物学)

5) 業務使用言語
 スペイン語
 ()
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 スペイン語 (レベル: B)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 養殖分野への指導助言を行うため。
 ・淡水魚養殖専門家 理由: 配属先は研究機関であるため。
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 有 無 車輦 単車 自転車

概地況域 気候(温暖) 気温(3~34℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 21 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 30 日

要請番号(SL 469 - 09 - C - 02)

調査者名: 北島 裕行

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
モロッコ	職種 水産物加工 (コード 1604)	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 水産物加工			1	21 / 3	年 月 から
	職種(英) Aquatic Products Processing 指導科目(英) Aquatic Products Processing			2	21 / 4	
			3	/		
プログラム番号・名 産業振興プログラム		プロジェクト名 水産物付加価値向上人材育成				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・漁業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Maritime of Fisheries and Agriculture					
	2) 配属先名 (日本語) アガディール水産高等学院(ISPM) (英語) Higher Institute of Maritime Fisheries					
	3) 任地 アガディール 首都(ラバト)から 南西 方向 600 Km 主要都市(カサブランカ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 漁業省は水産物の品質・付加価値向上を重要施策に挙げ、1996年に水産加工学科が開設された。約30名の学生に原料管理・製品加工技術・保存技術等を教育し技術者の育成を行っている。水産加工学科の他に機関学科、漁業学科があり学生総数は180名、教官は約30名である。これまでに水産用日本語教師、機関、水産物加工でSVが派遣されている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モロッコで唯一の水産分野における大学レベルの高等教育機関である。水産物加工については2001年までのJICA技術協力で品質管理・製品加工技術・保存技術は一定レベルに達した。その後、販路拡大および製品加工技術開発が進まないので、これまでのレベルの維持・向上および技術力の強化をはかるために、経験豊かなSVの技術指導がもためられている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・水産物加工や冷凍保存実習指導 ・担当教官に対する技術指導 ・実習科目改善					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 缶詰製造装置、各種小型加工品製造装置(練り製品、調理品等)、一般分析装置・細菌検査用機器、各種冷凍冷却設備					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大学校長(男性 49 歳) 水産加工学科教官(男性 5 名 JICA研修経験者 3 名) 水産加工学科学生(33 名、男女 19 歳~22 歳)		5) 業務使用言語 ● フランス語 () ○ 英語 ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N: C) □ フランス語 (V/N: C)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	性別理由:					
	学歴理由:					
	・経験 実務経験 10年以上 経験理由: 大学相当教育機関で技術指導を行うため 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車						
概地況	気候(ステップ気候) 気温(5~35℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)			
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					

